CQG, Inc

CQG Desktop・One ユーザーガイド

Jan 17th, 2025 | Based on Software version 10.2

＜変更履歴＞

バージョン	章	変更内容
4.3	オプション取引	オプションウィジェット(ウィンドウ)の設定、操作方法を追加
4.4	銘柄情報	フィルターによる絞込みの設定方法を追加
4.4	チャート	水平線とトレーディングツールバー内オーダープレースメントボタンのリンク機能を追加
4.5	チャート	BATS（Bid Ask Trade Settlement）の設定方法を追加
4.7	取引、取引設定	板画面　右クリックで注文キャンセルを追加
4.8	ウィジェットの追加	追加方法が変更（アクティブなウィジェットの隣にタブで追加される旨記載）
4.9	取引、取引設定	板画面の買／売欄をクリックにて発注(確認画面付き)を追加
4.10	取引→板画面	板画面のセンタリングを追加
4.10	銘柄情報→カラムの管理	“ラベル行の追加”を追加
4.10	取引	商品ごとの建玉を追加
5.1	表示注文枚数の変更	表示注文枚数の変更
5.2	歩み値（Time&Sales）	歩み値（Time&Sales）を追加
5.3	概要→ナビゲーション	ページ名の色変更を追加
5.3	取引→板画面	注文アクションメニューの追加
5.3	銘柄情報→ウィジェットのリンク	建玉ウィジェットもリンク対象となる旨追加
5.4	チャート→チャートの基本操作、機能	注文の訂正、取り消しを追加
5.5	取引→板画面のカスタマイズ	カスタマイズメニューの追加
5.6	取引→保留注文（パーク）および保留解除	Park/Activate 注文はデフォルトで板画面に表示される旨追加
5.8	取引→板画面のカスタマイズ	Auto-reset ladder を追加
6.8	銘柄情報→カラムの管理	FILTER 機能の記述を追加
6.9	ブラケット注文	指値注文からブラケット注文への変更方法を追加
6.9	取引→板画面	アカウントピッカーを追加
7.3	取引	注文レポートの出力を追加（本日の約定レポートを削除）
7.4	取引→板画面	取引所ネイティブのカレンダースプレッド市場を発注する際は、確認画面に原市場への注文内容が表示される旨追記。
7.9	ウィジェットを別のウィンドウで開く	ログオフ後も切り離されたウィンドウは保存され、次回のログイン時に自動的に表示される旨を追記
	注文、建玉照会、口座情報ウィジェットの設定、使用方法	注文のフィルター（カラム）を追加
7.10	注文レポートの出力	売買損益ウィジェットに CSV ダウンロード機能を追加
	取引	キャンセル注文ウィジェットに再発注機能を追加

7.11	チャートの基本操作、機能	チャート価格軸のスタディ値表示/非表示切り替え機能を追加
	チャートの基本操作、機能	チャート上におけるスタディ一覧の表示/非表示切り替え機能を追加
8.1	取引	Last Quote/Last Traded price の切り替え機能を追加
8.4	取引	オーダーチケット、板画面に指値/逆指値注文のデフォルト設定を追加
	取引	ブラケット注文の複製機能を追加
8.7	取引	オプション 2 ウィジェットを追加
8.10	オプション取引	ストラテジービルダー(ユーザー定義ストラテジー作成機能)を追加
8.11	取引	取引ウィジェットをコピーすると、カラム全体をコピー可能になる機能を追加
9.1	オプション取引	オプション 2 ウィジェットにアメリカン/ヨーロピアンフィルターを追加
9.1	オプション取引、取引	新しいリンクモードの追加
9.3	銘柄情報、取引、オプション取引	複数のグループにウィジェットをリンクする機能を追加
9.4	取引	デフォルトの指値、逆指値タイプを設定する機能を追加
9.6	取引	オーダーチケットに OCO 注文を追加
	取引	注文履歴のコピー機能を追加
9.9	ライトバー	Economic Calender ウィジェットを追加
	取引	約定ポップアップに発注価格カラムを追加
9.11	チャート	失効済み限月のチャート閲覧機能を追加
10.1	アラート	新たな通知機能を追加

Contents

概要 7
ナビゲーション 7
レフトバーの折りたたみ 7
ページ名の表示順変更 7
ページの管理 7
ページ追加 8
ページ名の色変更 8
ライトバー 9
Economic Calendar 9
アラート 11
アラートの通知 13
シンボル情報 14
メッセージ 14
ウィジェットの追加 15
ウィジェットの最大化 16
ウィジェットを別のウィンドウで開く 17
銘柄情報 18
リストを開く 18
銘柄追加 20
ウィジェットのリンク 22
銘柄シートのオプション 25
銘柄シートの機能、情報 26
ツールバー 26
銘柄カラムの色変更 26
注文＆建玉インディケーター 26
銘柄の表示順を変更するには 26
並び替え 27
複数項目の並び替え 27
フィルターによる絞込み 27
カラムの管理 28
建玉、損益カラム 29
ラベル行の追加 29
チャート 30
チャートウィジェットの追加 30
銘柄の変更 31
ウィジェットのリンク 32
チャートの基本操作、機能 33
時間帯の調整 33
ズーム 33

チャートツールバー 33
十字線および詳細情報の表示 33
注文の訂正、取り消し 35
BATS（Bid Ask Trade Settlement） 35
スタディの追加手順 36
スタディ値の表示/非表示を切り替える 38
オブジェクトの追加 40
スタディの削除 40
スタディパラメーター 41
スタディの色変更 41
スタディメニュー-全チャートに同じスタディを追加 41
スタディのリンク 42
ポインターツール 43
垂直／水平線 43
トレンドライン 44
チャネルライン 44
ラインの移動、削除 45
タイムインターバルのカスタマイズ 45
失効済み限月の閲覧 46
取引 47
ウィジェットのリンク 47
板画面 48
発注方法 48
キャンセル方法 50
気配のない値段の表示／非表示 51
板画面のカスタマイズ 52
板画面のセンタリング 55
注文アクションメニュー 55
アカウントピッカー 56
スプレッドシート Trader 57
発注方法 57
注文内容変更およびキャンセル 58
銘柄詳細の表示 59
取引ツールバー 60
気配のない値段の表示／非表示 61
スプレッド・ビルダー 62
取引所がサポートするカレンダースプレッドの作成 62
異なる取引所間における合成板の作成及び取引(CQG One のみ) 64
スプレッドのパラメーター設定 66
SPREAD PROPERTIES 66
HOW TO WORK 67

How to work orders considering DOM 68
MESSAGING....70
注文詳細....71
板画面ツールバーからの注文訂正方法 71
ブラケット&OCO 注文....72
ブラケット注文....72
ブラケット注文の複製 73
OCO 注文 74
約定レポートからの発注....75
トレイリングリミット／ストップ注文 76
アイスバーグ注文....77
表示注文枚数の変更 78
成行注文に変更....78
キャンセル・期限切れ注文の再発注 79
保留注文（パーク）および保留解除 80
保留方法 80
板画面からの保留注文発注 80
保留時間のカスタマイズ....81
注文ウィジェットからの注文の保留 82
保留解除 82
全注文の保留および保留解除 82
全建玉決済ボタン....83
注文、建玉照会、口座情報ウィジェットの設定、使用方法....83
口座選択 83
板画面と口座情報ウィジェットのリンク....84
口座カラムの色変更....84
口座情報、注文、建玉ウィジェットのフィルター 84
注文のフィルター（ダイアログ） 85
注文のフィルター（カラム） 85
注文レポートの出力(テキスト形式)....86
注文レポートの出力 86
商品ごとの建玉....87
銘柄コード（シンボル） 88
新たに追加するウィジェットのシンボル 88
銘柄コードの変更 88
リストを開く....89
銘柄追加....90
銘柄シートのオプション....91
歩み値（Time&Sales） 91
設定....92
基本設定....92

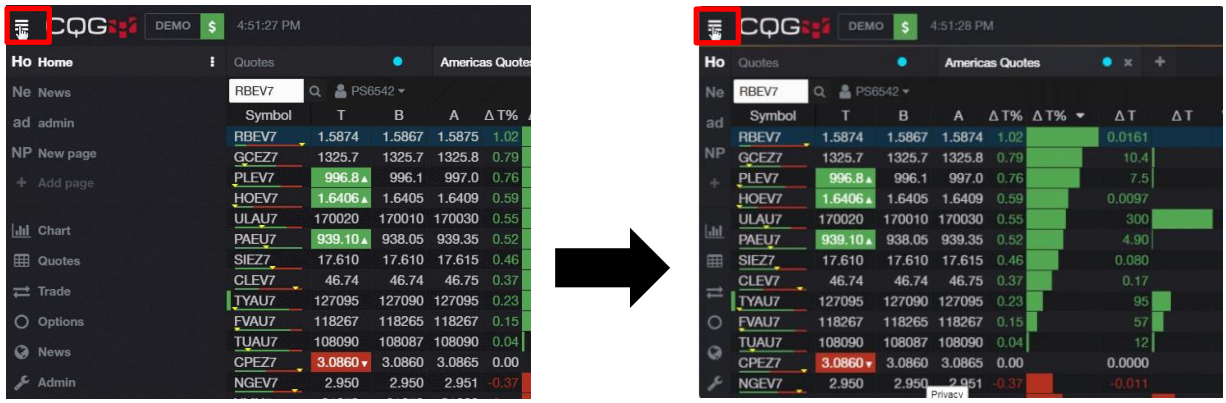
パスワード変更 92
インターフェイス 92
取引設定 95
注文サイズおよび注文種類の設定 95
板画面の買／売欄をクリックにて発注(確認画面付き) 97
板画面　右クリックで注文キャンセル 97
接続状況 98
オプション取引 100
オプション 100
オプション２ 101
スプレッド・ビルダー 101

概要

ナビゲーション

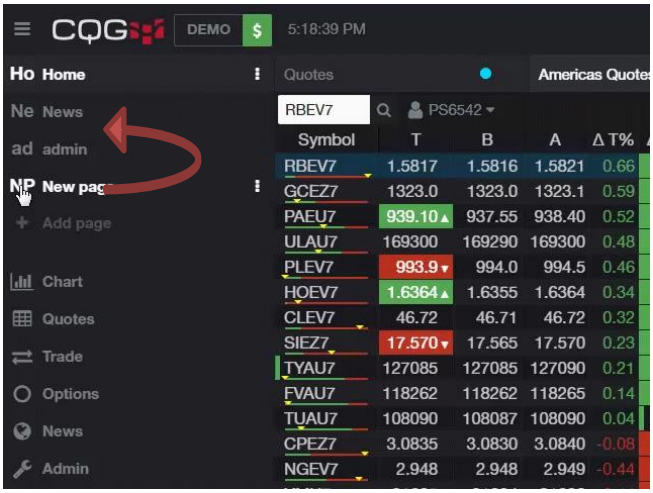
レフトバーの折りたたみ

下図の三本線ボタンをクリックすることで、レフトバーを折りたたむことができます。折りたたんでもページの略称およびアイコンは表示されますので、各メニューの選択は可能です。



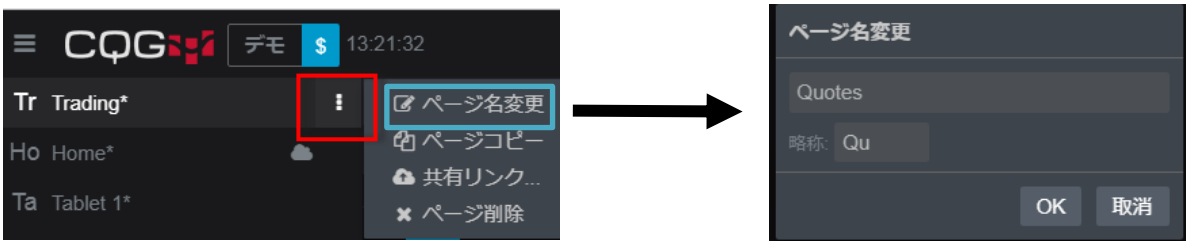
ページ名の表示順変更

レフトバーのページ名をドラッグ＆ドロップすることで表示順を入れ替えることができます。



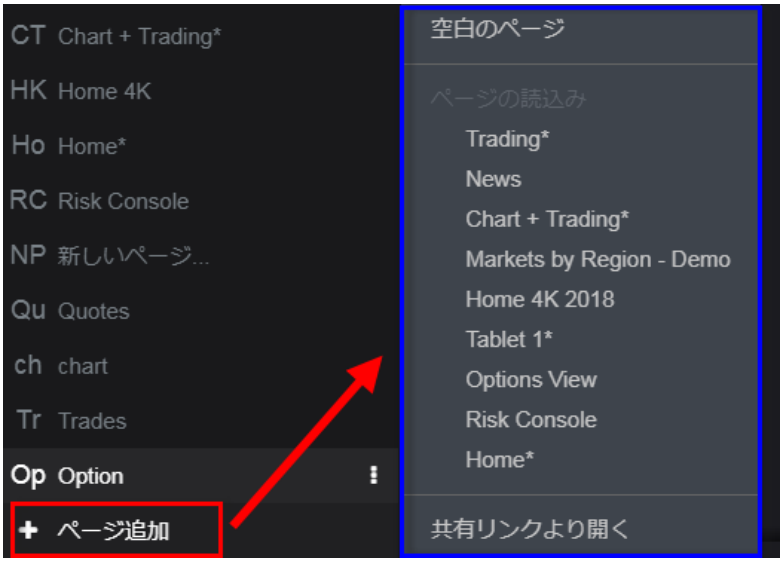
ページの管理

各ページ名の横に表示されている下図の**三つのドット**ボタンをクリックすると、**ページ名変更**などのメニューが表示されます。例えば**ページ名変更**をクリックすると、ページ名および略称を変更できます。



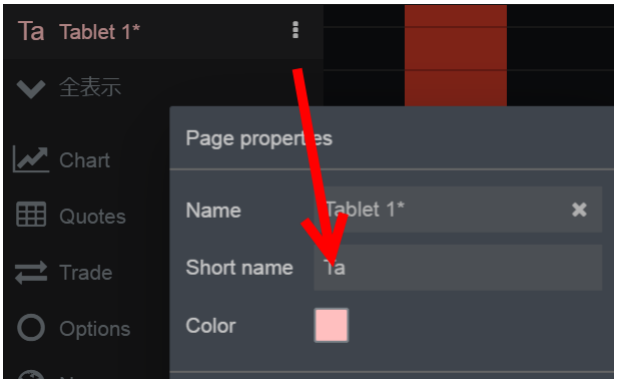
ページ追加

レフトバーの**ページ追加**をクリックするとサブメニューが表示されます。サブメニュー内の**空白のページ**をクリックするとブランクのページが、それ以外をクリックすると各文言に見合ったウィジェットが挿入されたテンプレートページが追加されます。



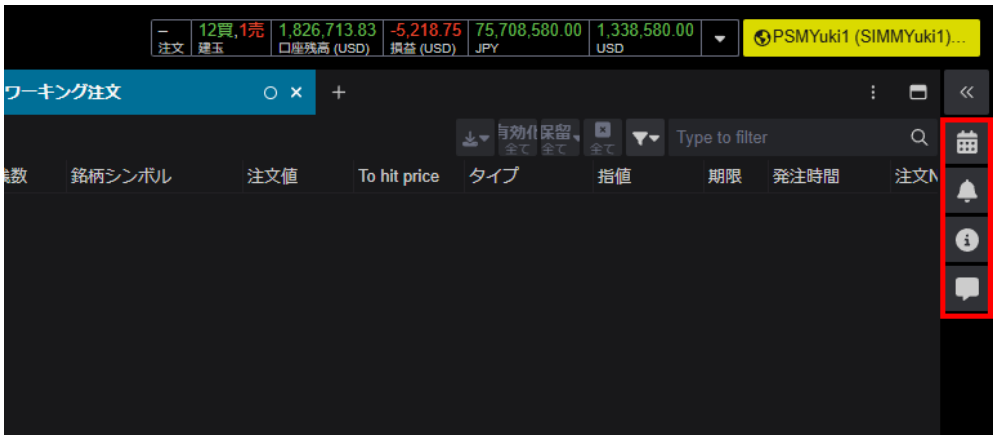
ページ名の色変更

各ページ名の横に表示されている下図の三つのドットボタンより、ページ名変更をクリックすると、下図のとおり設定画面が開き、ページ名の色を変更できます。



ライトバー

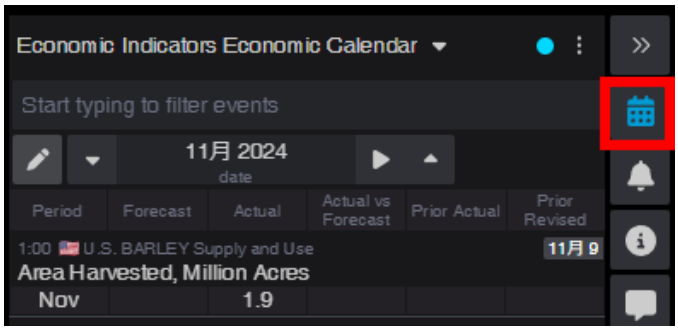
ライトバーにはいくつかの機能があり、それぞれのアイコンをクリックすると画面右側に展開します。



Economic Calendar

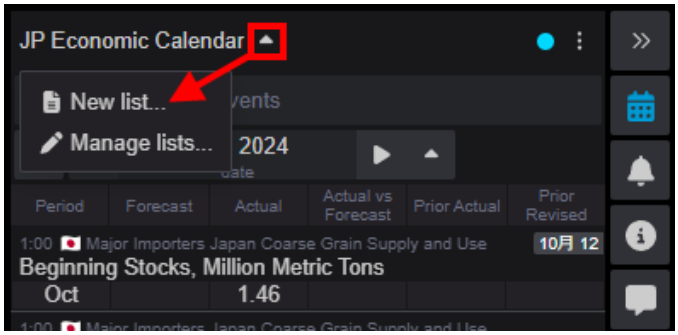
をクリックすると展開し、米国農務省(USDA)から提供される穀物関連情報を閲覧できます。更に、今後のアップデートで各国の経済指標も追加される予定です。

初めて開く際、全世界の穀物関連情報が一部掲載されたリストがテンプレートとして表示されます。

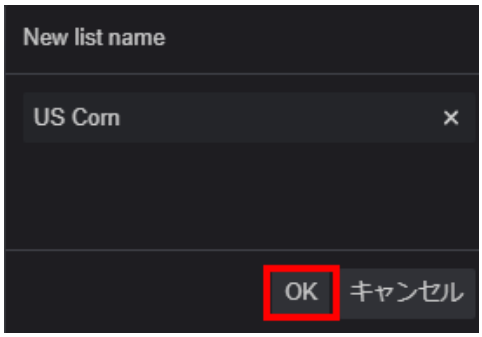


閲覧する穀物関連情報を選択し、リストを作成することも可能です。

リストを作成するには、まず Economic Calendar 上部のドロップダウン＞New List...をクリックします。

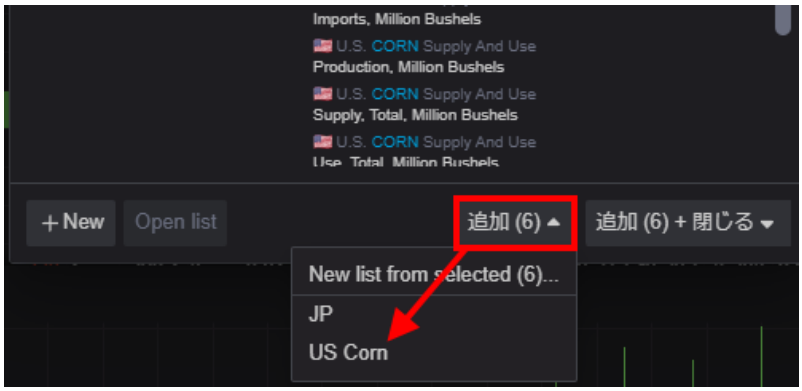


次に、任意のリスト名を入力後、OK をクリックします。

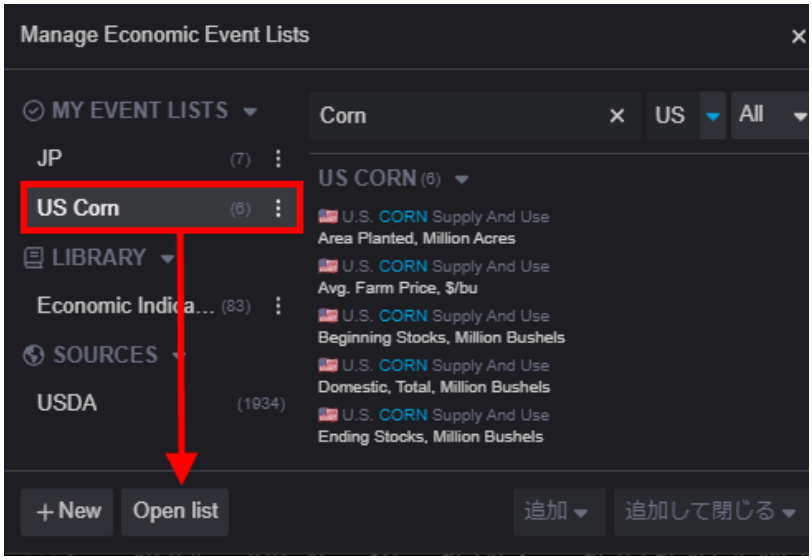


その後、ダイアログ左側から USDA をクリックし、リストに追加する情報をクリックして選択します。ダイアログ右上から、キーワード検索、検索する国の選択が可能です。

選択後、ダイアログ右下の**追加**をクリックし、先の手順で作成したリストを選択すると、そのリストに情報が追加されます。

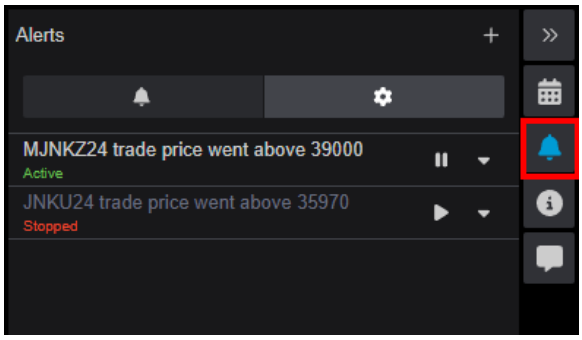


最後に、作成したリストを選択し、Open list をクリックすると、Economic Calendar にその情報が表示されます。

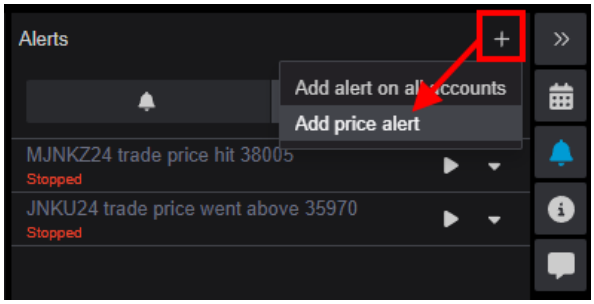


アラート

をクリックすると展開され、特定銘柄の様々な数値を基にアラートを設定できます。



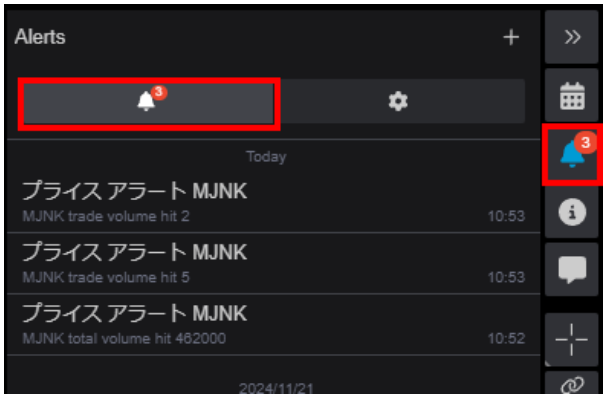
アラートを作成するには、まず画面右上の ＋ > Add price alert をクリックします。



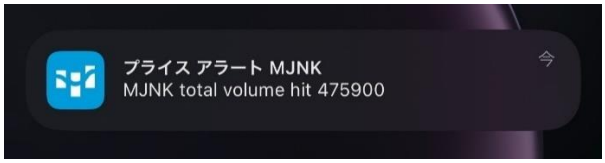
次に、開いたダイアログに条件を入力後、ダイアログ右下の**保存**をクリックしてアラートを有効化します。

銘柄	アラートを設定する銘柄コードを入力します。
条件①	1 つ目のドロップダウンから、アラートに使用する値の種類を設定します。 設定可能項目：BB/BA スプレッド、直近値、高値、安値、合計出来高、直近の終値と現在値の変動幅(実数値または%)、直近の取引高
条件②	２つ目のドロップダウンから、アラートに使用する条件を指定します。 設定可能項目：超、以上、未満、以下
条件③	３つ目のテキストボックスに、アラートに使用する値を入力します。
トリガー	アラートを 1 度のみ起動するか、条件に合致する度に起動するか選択します。
Expiration	**毎回**を選択すると、アラートの期限を指定できるようになります。
オプショナル・メッセージ	アラートが起動した際に表示するメッセージを設定できます。
メール送信	チェックボックスをクリックすると、アラートが起動した際にメールを送信します。 送信先のメールアドレス設定につきましては、ブローカーにお問い合わせください。

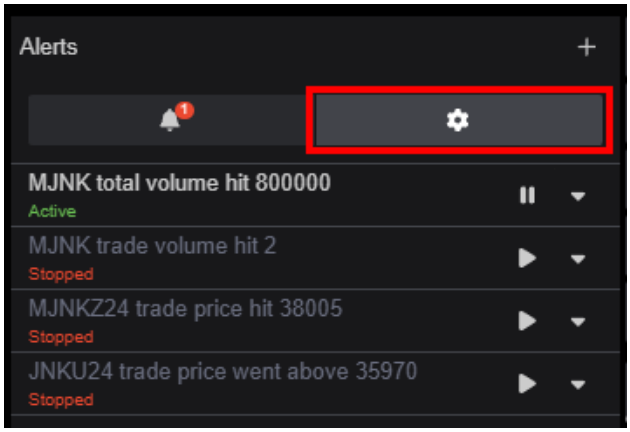
アラートが起動すると、アラート画面やライトバーのアラートアイコンに通知がつきます。アラート画面のアラートアイコンをクリックすると、起動したアラートの一覧が確認できます。



CQG Mobile の通知を有効にしている場合、スマートフォンにも通知が来ます。

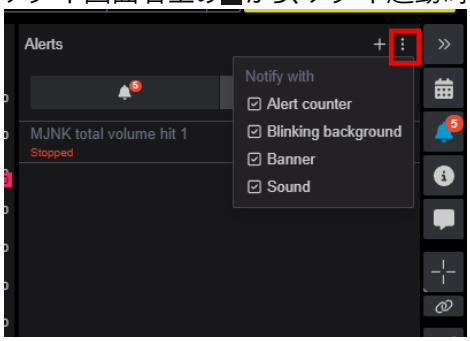


アラート画面の歯車アイコンをクリックすると、設定したアラートの一覧とアクティブ状況が確認できます。各アラート右側の再生/停止アイコンをクリックするとこでアラートを有効/無効化したり、ドロップダウンをクリックすることでアラートの編集、複製、削除ができます。



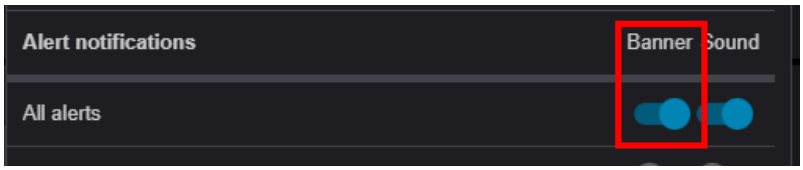
アラートの通知

アラート画面右上の⋮から、アラート起動時の通知方法を設定できます。

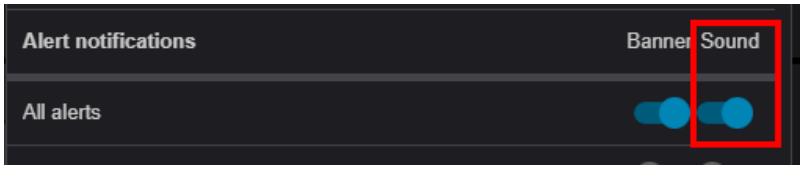


Alert counter	アラート起動時、アラートアイコン右上にバッジが表示されます。
Blinking background	アラート起動時、アラートアイコンが点滅します。
Banner	アラート起動時、バナーが CQG Desktop 画面右上に表示されます。※
Sound	アラート起動時、音が鳴ります。※ 2

※設定＞通知＞Don't show user message toasts がオフになっていて、且つ、設定＞通知＞Alert notifications＞All Alerts の Banner がオンになっている必要があります。



※ 2 設定＞通知＞Alert notifications>All Alerts の Sound がオンになっている必要があります。

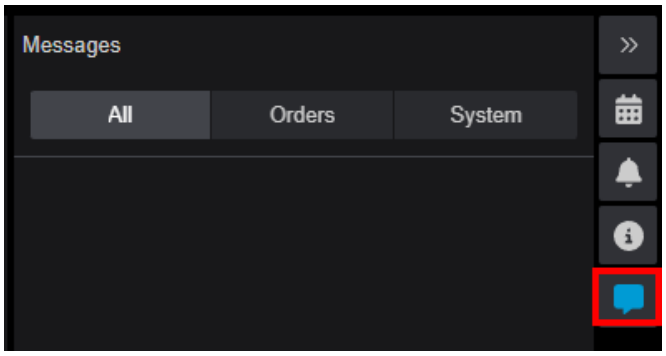


シンボル情報

をクリックすると展開され、銘柄情報を確認できます。

メッセージ

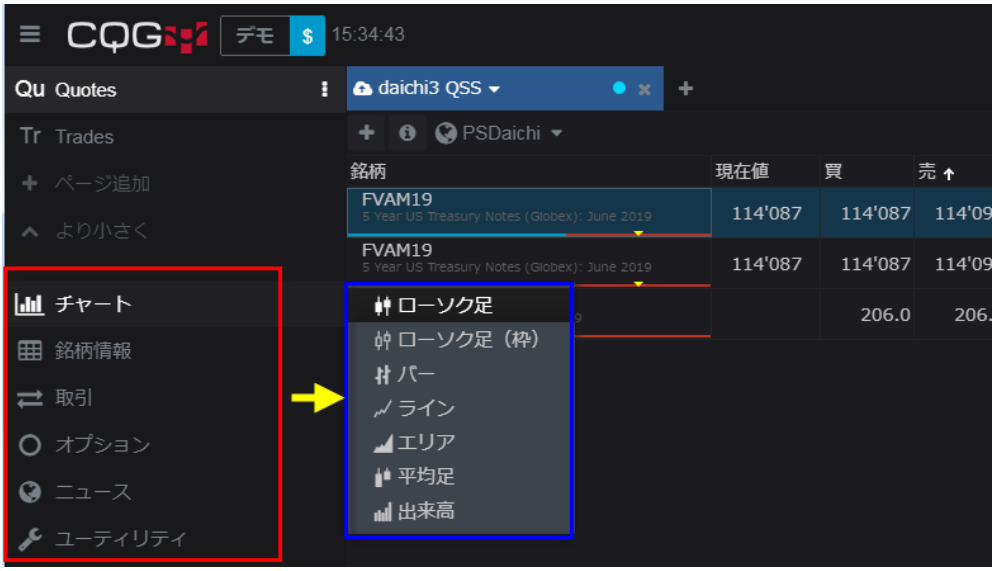
をクリックすると展開され、注文がリジェクトされるなど、特殊な状況が発生した際のメッセージが表示されます。



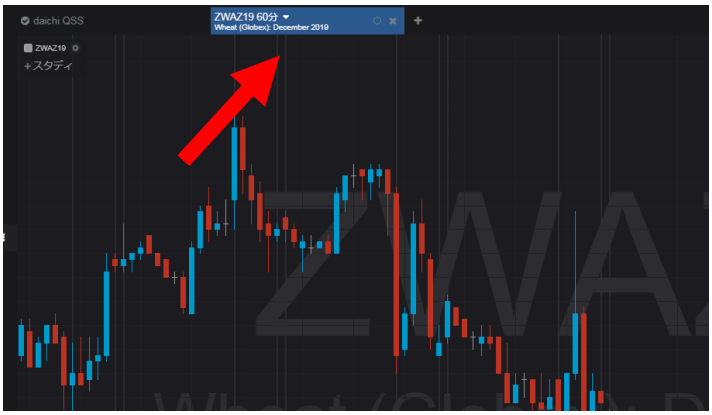
ウィジェットの追加

下記の手順でページ内にウィジェットを追加します。

1. レフトバーより追加するウィジェットを選択します。



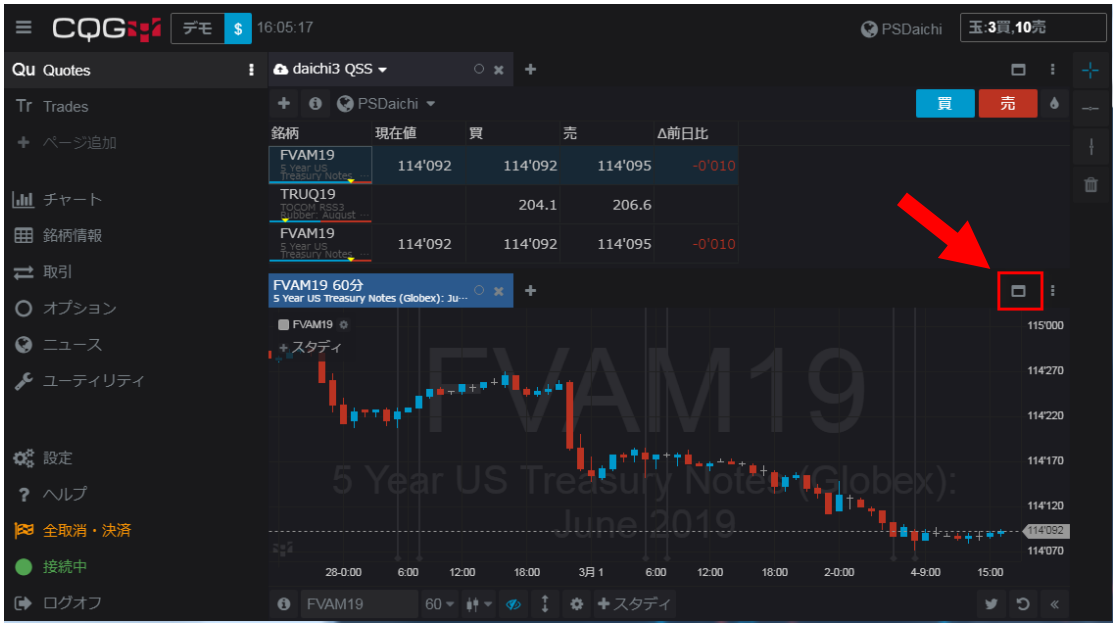
2. その時点でアクティブになっていたウィジェットの隣にタブで追加されます。



3. 再配置する場合はタブをドラッグ＆ドロップします。

ウィジェットの最大化

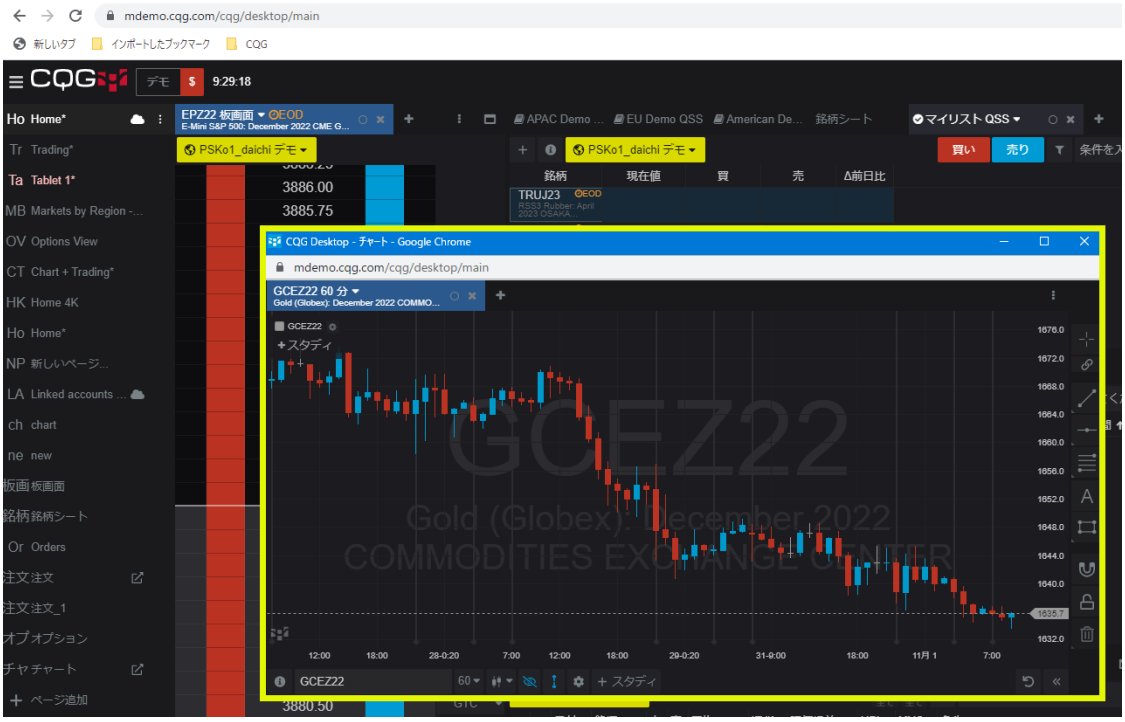
各ウィジェットの右上に表示されている最大化ボタンをクリックすると、ページ全体に表示されます。



ウィジェットを別のウィンドウで開く

ページ内のウィジェットを別のウィンドウで開くためには、三つのドットボタンより、"新しいウィンドウ内に開く"をクリックしてください。

ウィジェットはページから切り離され、別のウィンドウで開きます。



切り離されたウィンドウは新しいページとしてレフトバーに表示され、ページ名に が付与されます。 他のウィンドウの背後に隠れてしまっている場合は、 をクリックすると前面に表示されます。

ログオフ後も切り離されたウィンドウは保存され、次回のログイン時に自動的に表示されます。

銘柄情報

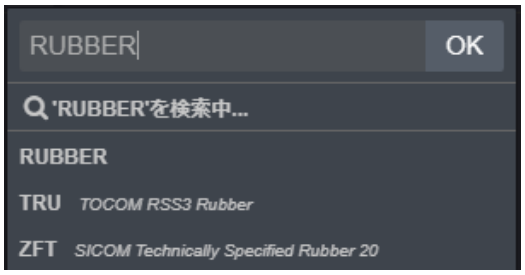
銘柄情報には銘柄シートウィジェット、銘柄ボードウィジェットなど多種多様なレイアウトを用意しています。本章では主に銘柄シートウィジェットの機能および使用方法について説明します。

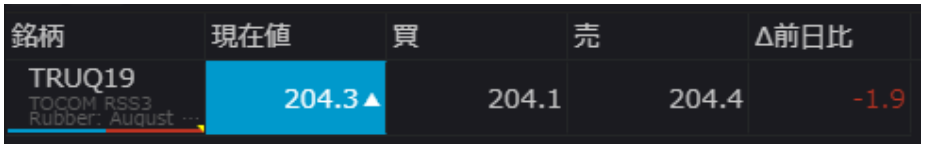
リストを開く

ページに銘柄シートウィジェットを追加すると、**リストを開く**ダイアログが開きます。ダイアログの中には、代表的な関連商品群をまとめた銘柄リストが表示されます。

また、検索ボックス内に任意のキーワード、例えば‘crude’と入力するとその文言を含んだ銘柄リストが表示され、‘WTI Crude Futures’を選択すると、ICE WTI Light Sweet Crude Oil の銘柄リストが表示されます。

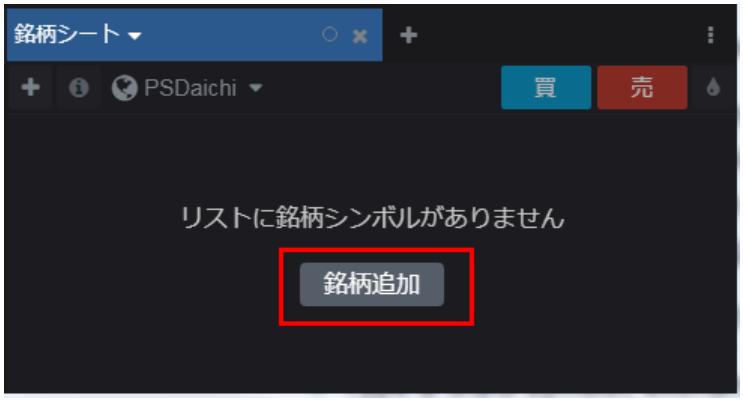
リストを開くダイアログ（前頁記載）内の**新規リスト**ボタンをクリックすると下図の検索ダイアログが開きます。任意のキーワードを入力すると関連商品が表示されます。対象のシンボルを選択しOKをクリックすると銘柄情報が追加されます。



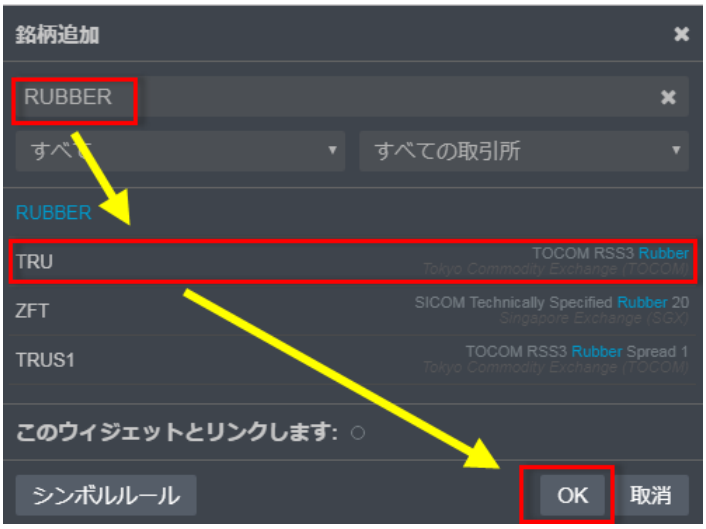


銘柄追加

ブランクのリストに銘柄を追加する場合には、**銘柄追加**ボタンをクリックし**銘柄追加**ダイアログを開きます。

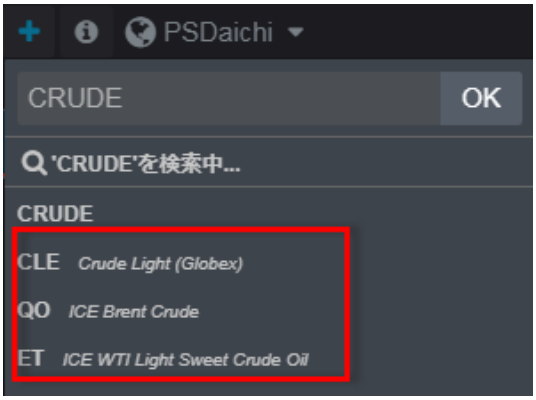


検索ボックス内にシンボル（銘柄コード）や商品名などを入力すると、それに見合った銘柄が候補として表示されます。対象のシンボルを選択し OK をクリックすると銘柄が追加されます。



もしくは、下図の＋ボタンでも銘柄の追加ができます。

＋ボタンをクリックし、検索ボックス内にシンボル（銘柄コード）や商品名などを入力すると、それに見合った商品が候補として表示されます。対象のシンボルを選択し OK をクリックすると銘柄が追加されます。

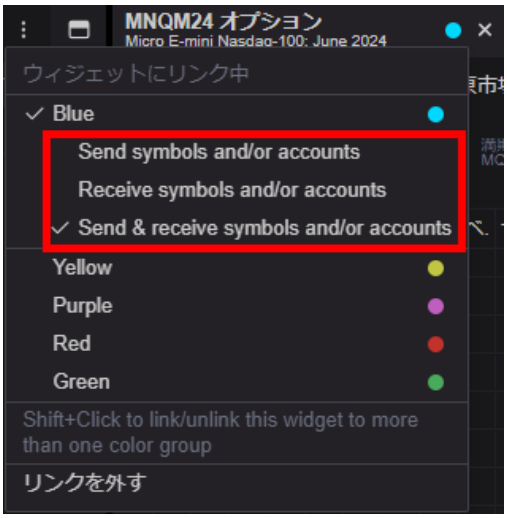


また、シンボルをカンマで区切ることにより、複数の銘柄を一度に追加することが可能です。

ウィジェットのリンク

銘柄シートや板画面、建玉画面などのウィジェットにリンクを設定することで、銘柄シートまたは建玉ウィジェット内の特定の銘柄をクリックすると、リンク先ウィジェット（板画面など）の銘柄が同期して変更されます。リンクの設定は下図のウィジェットタブにて行います。同色のウィジェット同士がリンク関係にあります。

リンクの色を設定後、スプレッド・マトリックス、オプション、オプション２、注文、注文アルゴ、ワーキング注文、キャンセル注文、保留注文、OrdersWholesale、建玉ウィジェットでは、更にリンクのオプション設定が表示されます。

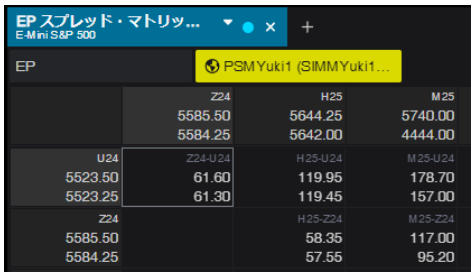


＜Send symbols and/or accounts＞

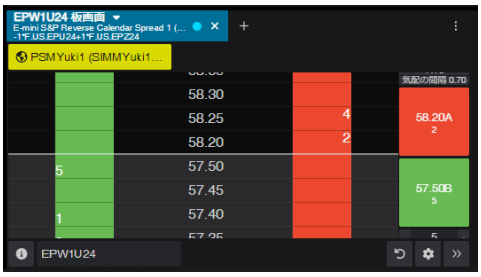
Send symbols and/or accounts の設定をしているリンク元ウィジェットでの変更操作は、リンク先ウィジェットに適用されますが、リンク先ウィジェットでの変更はリンク元ウィジェットに適用されません。

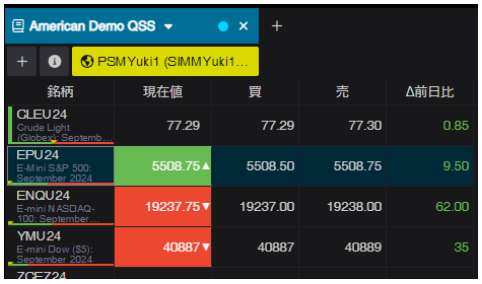
下図は、スプレッド・マトリックスウィジェットに Send symbols and/or accounts が適用されており、板画面ウィジェット、相場表ウィジェットは通常のリンク設定がなされている場合の例です。

板画面ウィジェットと相場表ウィジェットには、このオプションを設定することはできません。



(例１) スプレッド・マトリックスウィジェット内の銘柄をクリックすると、板画面ウィジェットの銘柄が変わります。





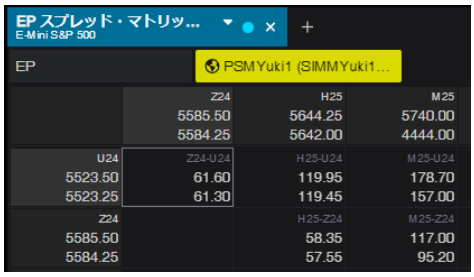
(例２)相場表ウィジェット内の銘柄をクリックしても、スプレッド・マトリックスウィジェットの銘柄は変わりません。

＜Receive symbols and/or accounts>

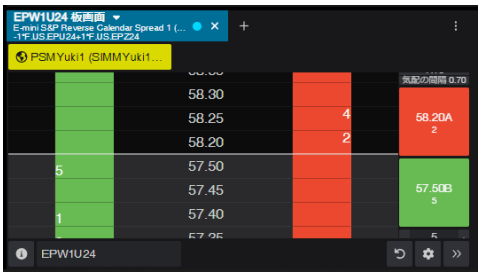
Recieve symbols and/or accounts の設定をしているリンク先ウィジェットでの変更操作は、リンク元ウィジェットに適用されますが、リンク元ウィジェットでの変更はリンク先ウィジェットに適用されません。

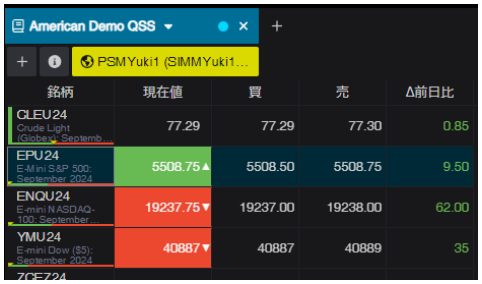
下図は、スプレッド・マトリックスウィジェットに Recieve symbols and/or accounts が適用されており、板画面ウィジェット、相場表ウィジェットは通常のリンク設定がなされている場合の例です。

板画面ウィジェットと相場表ウィジェットには、このオプションを設定することはできません。

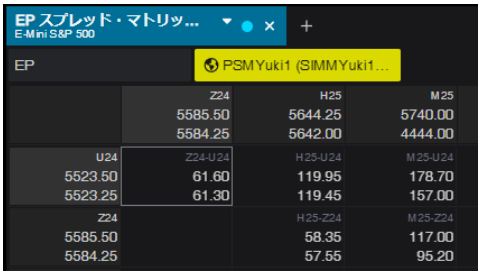


(例１) スプレッド・マトリックスウィジェット内の銘柄をクリックしても、板画面ウィジェットの銘柄は変わりません。





(例２)相場表ウィジェット内の銘柄をクリックすると、スプレッド・マトリックスウィジェットの銘柄が変わります。

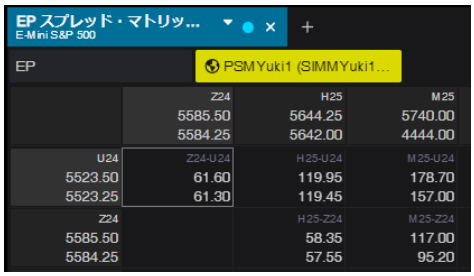


＜Send/Receive symbols and/or accounts>

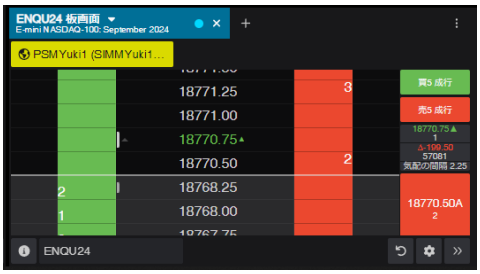
Send/Receive symbols and/or accounts の設定をしているリンク元ウィジェットでの変更操作は、リンク先ウィジェットに適用され、かつリンク先ウィジェットでの変更はリンク元ウィジェットに適用されます。

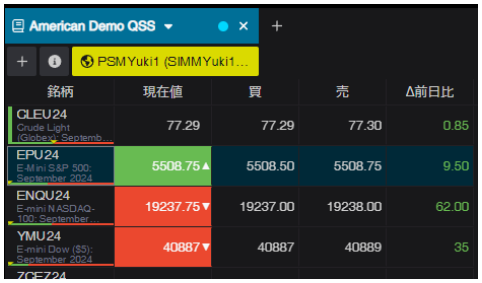
下図は、スプレッド・マトリックスウィジェットに Send/Recieve symbols and/or accounts が適用されており、板画面ウィジェット、相場表ウィジェットは通常のリンク設定がなされている場合の例です。

板画面ウィジェットと相場表ウィジェットには、このオプションを設定することはできません。

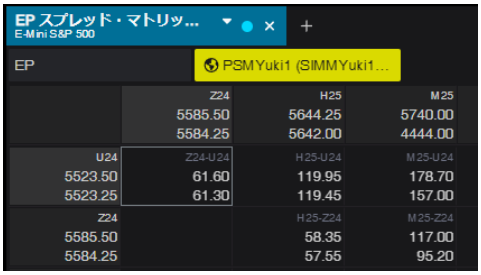


(例１) スプレッド・マトリックスウィジェット内の銘柄をクリックすると、板画面ウィジェットの銘柄が変わります。





(例２)相場表ウィジェット内の銘柄をクリックすると、スプレッド・マトリックスウィジェットの銘柄が変わります。



銘柄シートのオプション

銘柄シートウィジェットのタブをクリックすると下図のとおり利用可能なオプションが表示されます。

［銘柄リストが保存されていない場合］

［保存されている場合］

新規	新規リスト（ブランクのリスト）を開き、現行のリストを閉じます。現行のリストにおける直近の変更内容は自動保存されます。
銘柄リスト	**リストを開く**ダイアログを開きます。
名前の変更	銘柄リスト（シンボルリスト）名の変更ダイアログが開きます。
コピーする	現在開いている　銘柄リスト（シンボルリスト）をコピーします。**シンボルリストのコピー**ダイアログが開くので新しい名前を入力してください。
シンボルリスト共有	銘柄リスト（シンボルリスト）を他社もしくは他機と共有するためのリンクを作成、メール送信するダイアログが表示されます。

銘柄シートの機能、情報

ツールバー

②建玉詳細（③）を表示するアカウントを選択します。

③選択しているアカウントにおける、銘柄の建玉詳細（枚数、平均値、値洗）が表示されます。

④**買**もしくは**売**ボタンをクリックすると発注画面が表示されます。

銘柄カラムの色変更

対象の銘柄を選択し、下図のインクアイコンをクリックするとカラーパレットが表示されます。任意の色を選択すると銘柄カラムの色が変更されます。

注文＆建玉インディケーター

リストの左端に表示されている色は建玉と注文の状況を表します。青色は買い玉、赤色は売り玉、赤と白は売り玉とワーキング注文があることを意味します。

銘柄の表示順を変更するには

表示順を変更するには銘柄カラムのセルをドラッグ＆ドロップしてください。

並び替え

各カラム名をクリックすることで並び替えができます。クリックするごとに昇順→降順→並び替え解除となります。下図は**前日比**カラムで昇順に並べ替えた状態です。

複数項目の並び替え

並び替えは第二優先まで指定することができます。第一優先のカラム名で並び替えをした後、Shift キーを押しながら第二優先のカラム名をクリックしてください。下図のとおり第一優先のカラムには“1”と、第二優先のカラムには“2”とそれぞれ番号が表示されます。

フィルターによる絞込み

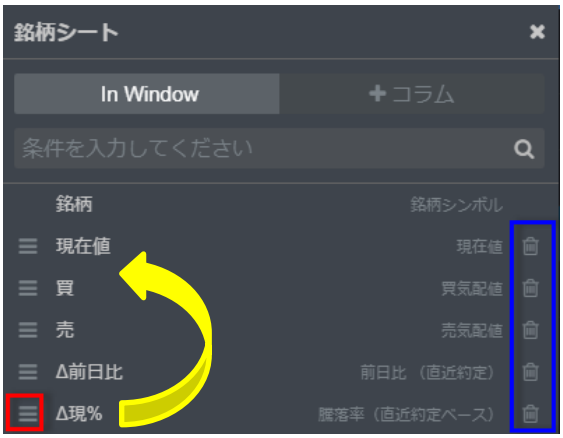
下図のフィルターアイコンをクリック→ドロップダウンより条件を選択しキーワードを入力すると、表示銘柄が絞り込まれます。

カラムの管理

下図**三つのドット**ボタンをクリックし、**コラムの管理…**を選択すると**銘柄シート**ダイアログが開きます。

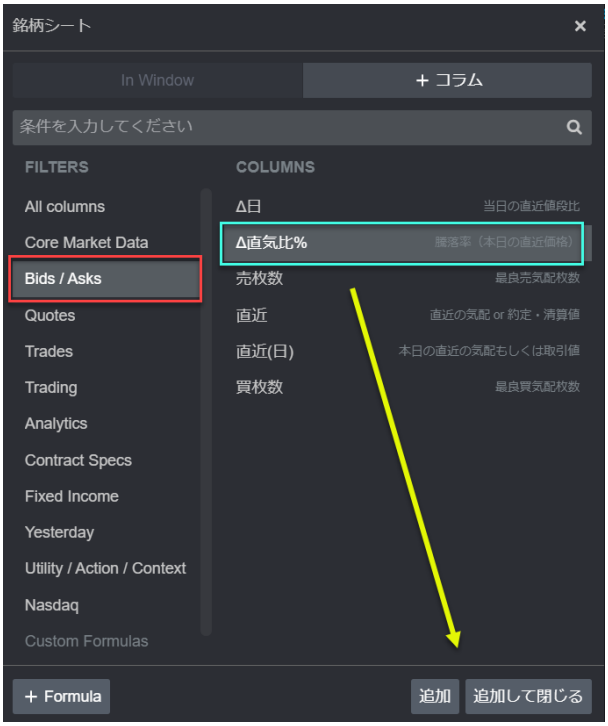
＜In Window タブ＞

下図**三本線**のアイコンをドラッグ＆ドロップすることでカラムの並び順を変更できます。また**ゴミ箱**のアイコンをクリックすることで対象カラムを削除できます。



＜コラムタブ＞

FILTERS よりカテゴリーを、COLUMNS より任意のカラムを選択し、**追加**もしくは**追加して閉じる**をクリックすると、銘柄シートに追加できます。



建玉、損益カラム

銘柄シートには下図のとおり建玉、評価損益、評価損益＋実損益を追加表示することができます。

ラベル行の追加

銘柄ごと、取引所ごとにクォートを分けるためにラベル行を追加することができます。

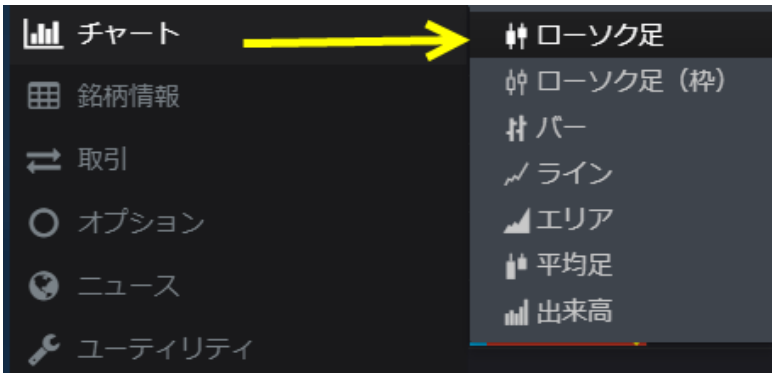
下図 “＋”ボタンをクリックしてシンボル入力ボックスを開き、先頭に ‘（アポストロフィ）を入れてから任意の文言を入力すると、ラベル行がウィジェット内に追加されます。

また、追加されたラベル行を右クリック-色変更にてラベル行の色を変更すると、より識別しやすくなります。

チャート

チャートウィジェットの追加

レフトバーより**チャート**をクリックし、チャートタイプを選択すると、ページ内に下図のダイアログが表示されるので、チャートウィジェットを配置したい場所にダイアログをドラッグ＆ドロップします。



銘柄の変更

下図の検索ボックスにシンボルや商品名などを入力すると、それに見合った商品が候補として表示されます。ご希望のシンボルをクリックすると表示される銘柄が変わります。

また、検索ボックス内に“シンボル，タイムインターバル”を入力すると銘柄とインターバルの変更が同時に可能です。 例えば、“TRU,5”と入力すると東京ゴム市場の 5 分足が、“TRU,D”と入力すると東京ゴム市場の日足が表示されます。

ウィジェットのリンク

22 ページ「ウィジェットのリンク」を参照してください。

チャートの基本操作、機能

時間帯の調整

チャートの背景を左右にドラッグすると表記時間帯の変更ができます。

ズーム

値段軸（上図青枠内）を上下にドラッグすると値段幅の拡大、縮小ができます。

時間軸（上図赤枠内）を左右にドラッグすると時間幅の拡大、縮小ができます。

背景をダブルクリックすると時間幅および値段幅が初期状態に戻ります。

チャートツールバー

十字線および詳細情報の表示

チャートの背景で右クリックし**十字線の表示・非表示**をクリックするとチャート上に十字線が表示されます。

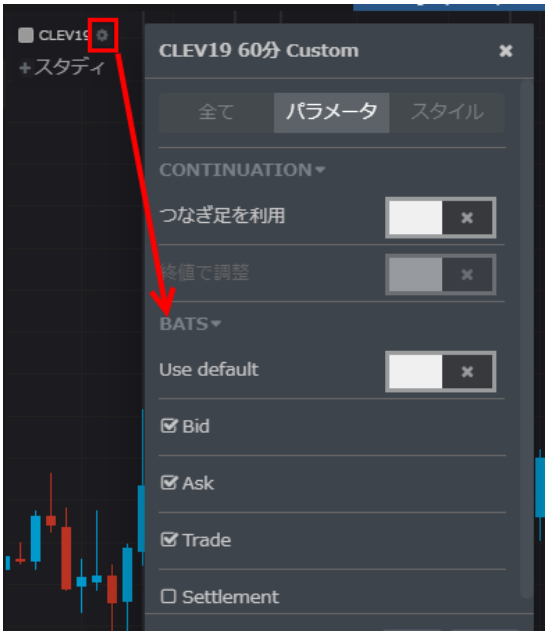
任意のロウソク足にマウスポインタを合わせると、そのロウソク足の詳細情報が表示されます。

注文の訂正、取り消し

ワーキング注文及び約定注文はチャート上に表示されます。そのマーク上で右クリックすると下図のメニューが表示され、注文の訂正または取り消しをすることができます。

BATS（Bid Ask Trade Settlement）

こちらの機能は日中足にのみ有効です。チャート形成にビッド、アスク、取引値、清算値のどれを使用するか選択します。複数を組み合わせて使用することもできます。



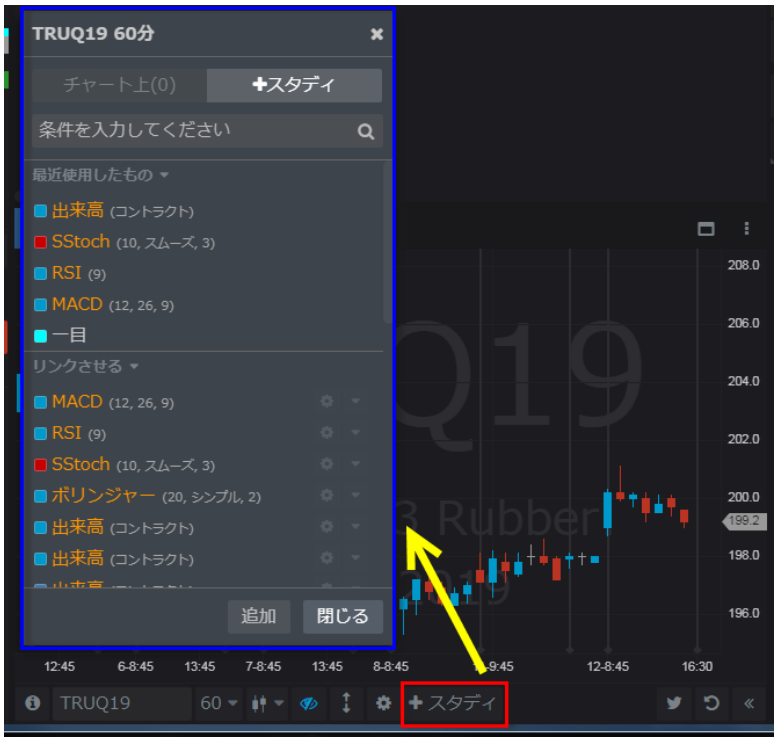
Use default を有効にすると Trade と Settlement にチェックが入ります。

例えば、Bid のみにチェックを入れた場合、4 本値は全てビッドを使用します。

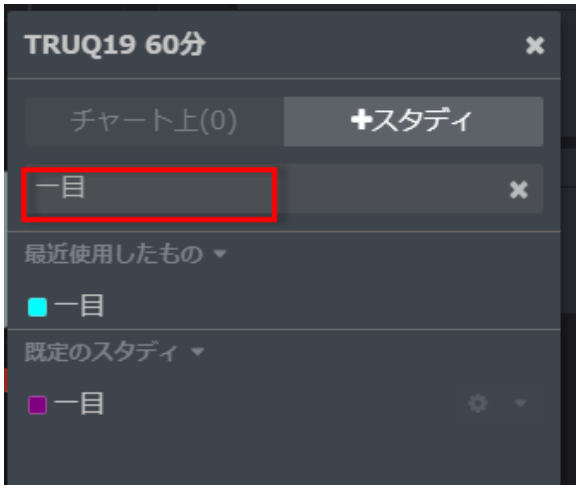
また、Bid、Ask、Trade にチェックを入れた場合、始値は 3 つの中で最初に付いたもの、高値／安値は 3 つの中で選定され、終値は 3 つの中で最後に付いたものが使用されます。

スタディの追加手順

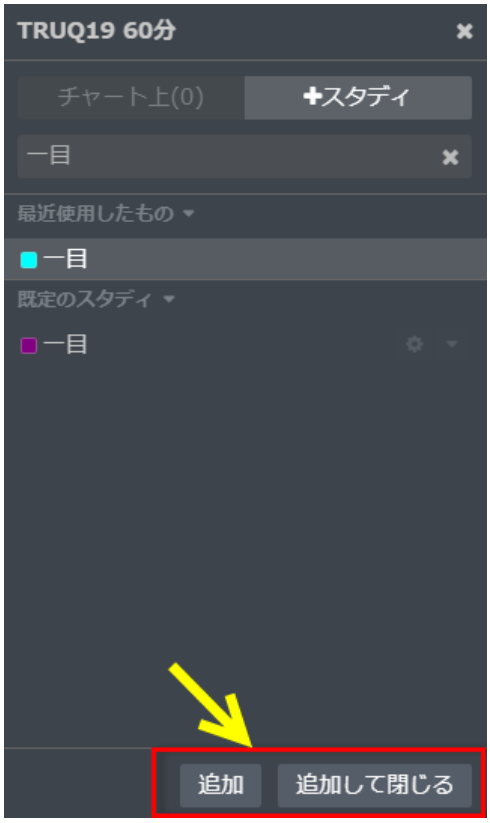
1. +**スタディ**ボタンをクリックするとダイアログが開きます。



2. +**スタディ**タブが選択されていることを確認し、'条件を入力してください'と書かれている検索ボックスにスタディ名や連想されるキーワードを入力してください。



3. ご希望のスタディを選択し、**追加**、もしくは**追加して閉じる**ボタンを押してください。
   ※**追加**ボタンを押した場合、指定のスタディは追加されてもダイアログは消えないため、複数のスタディを挿入する際はこちらを押してください。



スタディ値の表示/非表示を切り替える

チャート値段軸を右クリックし、Show study values をクリックします。

この項目にはデフォルトでチェックが入っており、これを外すとスタディ値が非表示になります。

追加情報の表示/非表示を切り替える

チャート左側にある追加情報の表示/非表示を切り替えるには、アイコンをクリックします。アイコン横のドロップダウンからは、非表示にする追加情報を選択できます。

Hide values...チャートに表示されている銘柄コードとスタディの一覧のみチャートに表示されます。

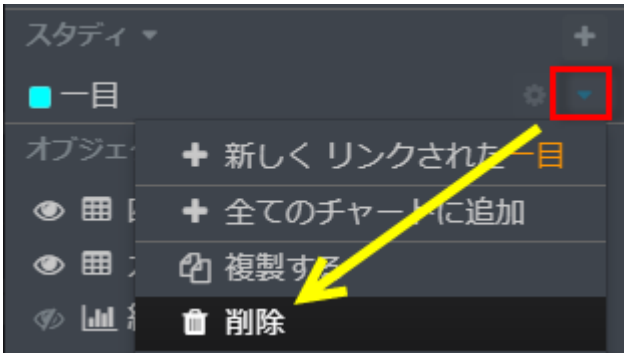
Hide values and labels...全ての追加情報が非表示になります。

オブジェクトの追加

チャート上に**シンボルの背面表示**や**セッションライン**などのオブジェクトを追加する、またはスタディを削除する場合は下図のギアアイコンをクリックしてください。アイコンの隣に表示されている数字は現在挿入しているスタディの数です。

スタディの削除

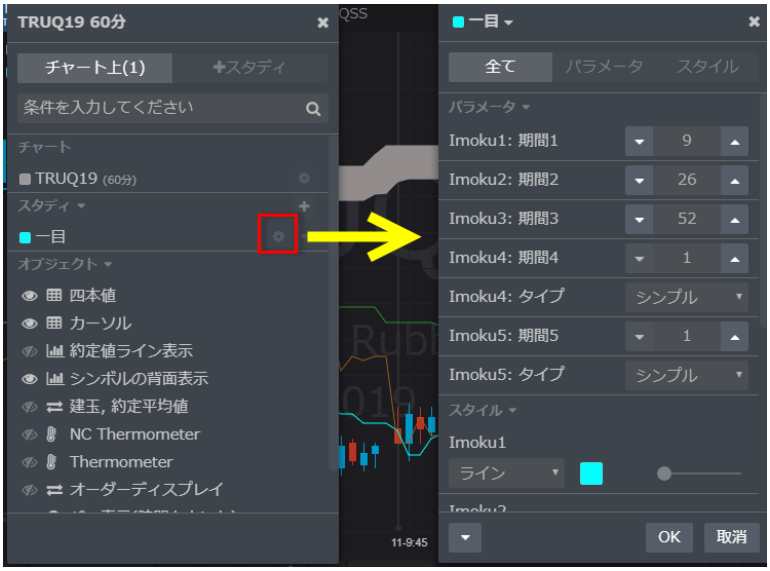
スタディを削除する場合はスタディ名の右側に表示されているドロップダウンボタンをクリックし、**削除**をクリックしてください。



もしくはチャート内のスタディ上で右クリック-**削除**をクリックしても削除できます。

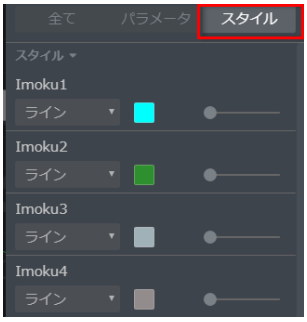
スタディパラメーター

スタディ名の右横に表示されているギア型アイコンをクリックするとパラメーターのダイアログが表示されます。変更したパラメーターは即座に（ダイアログを閉じなくても）チャートへ反映されます。



スタディの色変更

スタディの色変更はパラメーターダイアログ内のスタイルタブで行ってください。



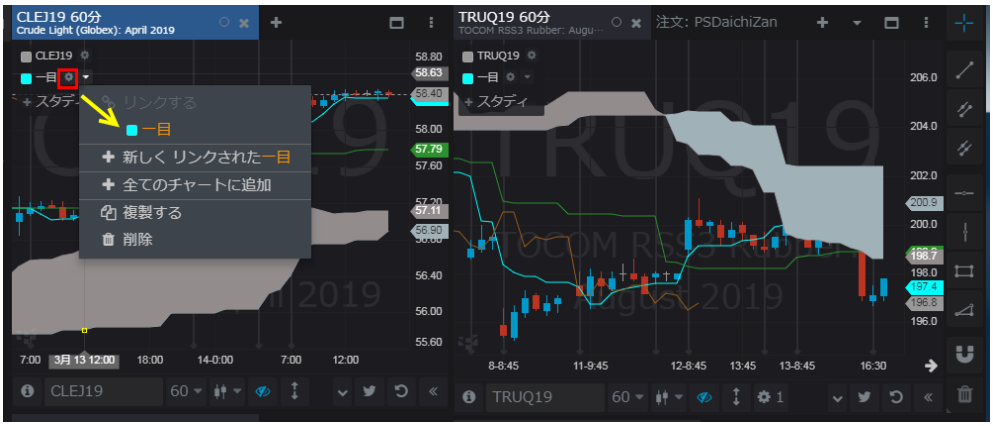
スタディメニュー→全チャートに同じスタディを追加

チャート左上のスタディ名横に表示されているドロップダウンをクリックすると、下図のとおりメニューが表示されます。**全てのチャートに追加**をクリックするとページ内の全チャートに同じスタディが追加されます。

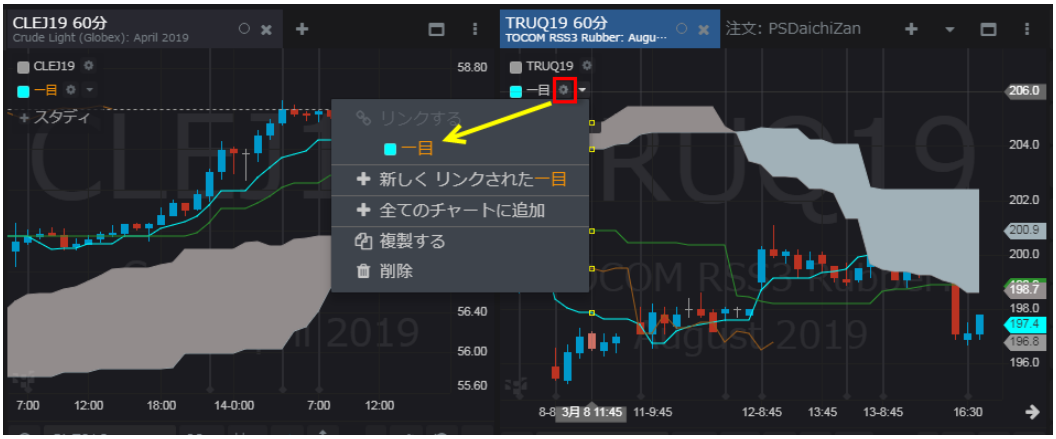
スタディのリンク

下記の手順にて、複数のチャート上にある同じスタディをリンク設定することにより、双方のパラメーター変更を同期させることができます。

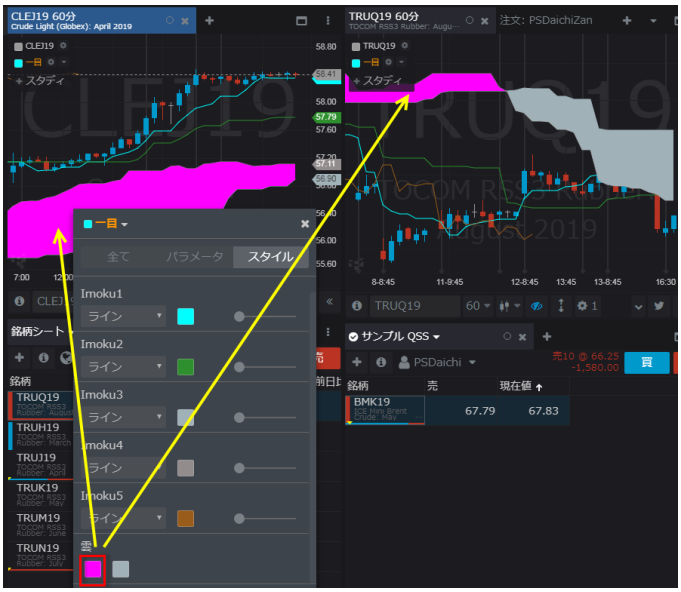
1. 一方のチャート上にあるギアアイコンをクリックし、リンクしたいスタディ名をクリックします。



2. 同様に、もう一方のチャートにあるギアアイコンをクリックし、リンクしたいスタディ名をクリックします。



3. これにより、一方のパラメーターを変更すると、その変更がもう一方のスタディにも反映されます。

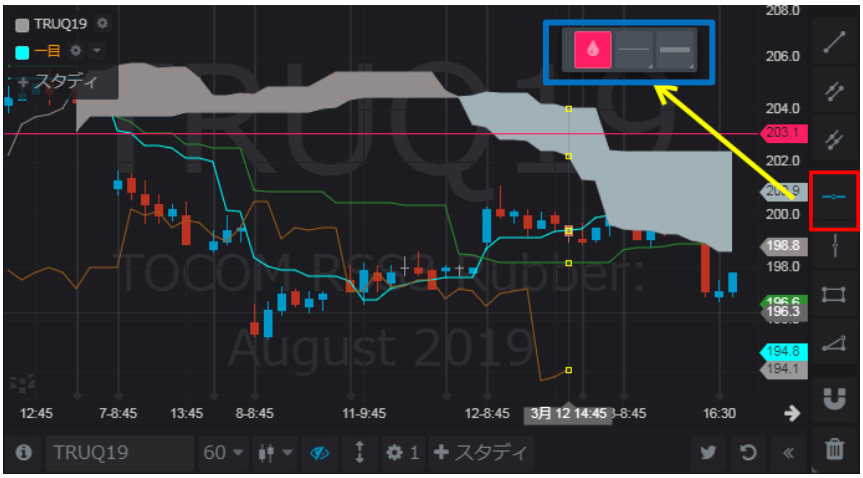


ポインターツール

垂直／水平線

チャート右側に表示されているツールバー内の横棒アイコン（赤枠内）をクリックするとパラメーターボックスが表示されます。

任意の値位置をクリックすると水平線が描画されます。パラメーターボックスにて色や太さが変更できます。



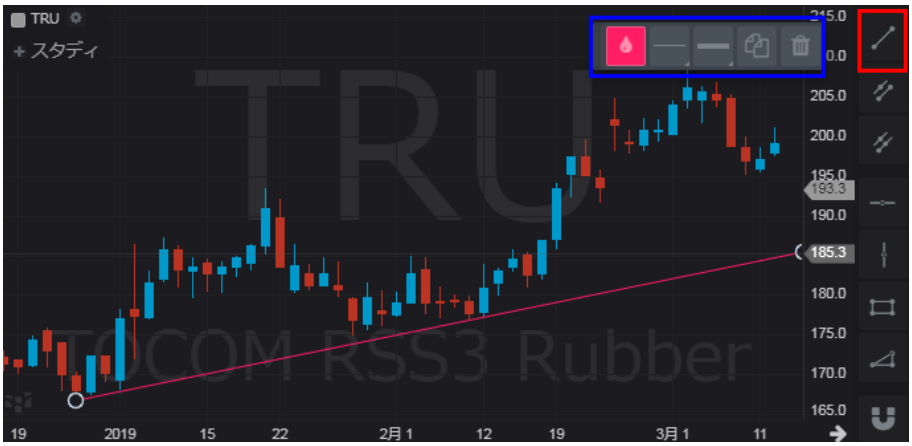
描画した水平線をクリックすると下図のとおり白丸が表示されます。その状態で水平線をドラッグすると値位置を移動できます。またゴミ箱ボタンをクリックすると削除できます。

また、トレーディングツールバーを表示した状態で水平線を動かすと、それに伴ってオーダープレースメントボタンの値段も下図のとおり変更されます。

トレーディングツールバーはチャートウィジェット下部の「>>」をクリックすると表示されます。

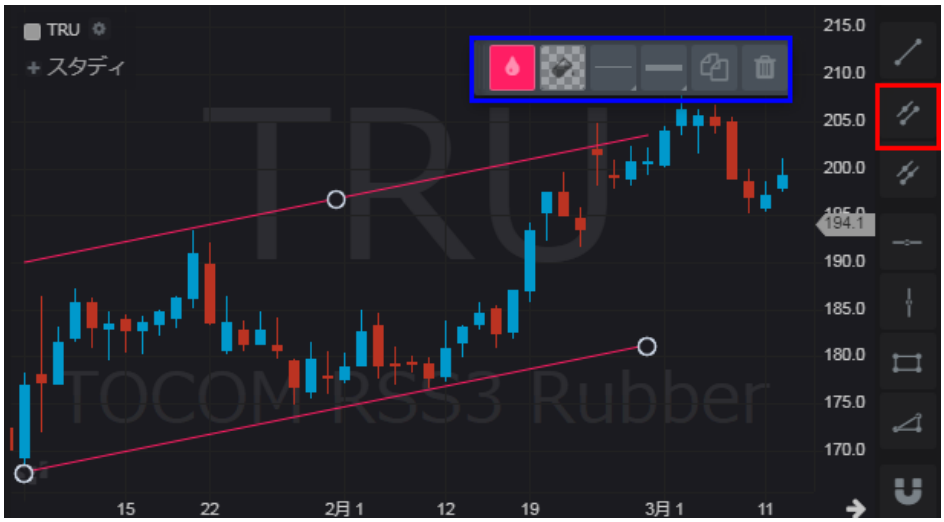
トレンドライン

チャート右側に表示されているツールバー内の斜め線アイコンをクリックするとパラメーターボックスが表示されます。始点と終点をそれぞれクリックすることでトレンドラインが描画されます。



チャネルライン

チャート右側に表示されているツールバー内の二重斜め線アイコンをクリックするとパラメーターボックスが表示されます。始点と終点をクリックすることでトレンドラインが描画されます。その後直ぐにチャネルラインが表示されるので、任意の場所へラインを合わせクリックすると固定されます。



ラインの移動、削除

描画した罫線をクリックすると両端に白丸が表示されます。その状態でドラッグすると罫線が移動します。
白丸を右クリックすると罫線は削除されます。

タイムインターバルのカスタマイズ

1. ツールバーよりタイムインターバルをクリックし、カスタムを選択
2. 任意の分足（例：７分）を入力し OK をクリック
3. ７分足チャートが表示される。

失効済み限月の閲覧

チャート左下の検索ボックスに、銘柄+失効済みの限月コードを入力することで、失効済み限月のチャートを表示できます。
失効済み限月のチャートを表示中は、失効済み限月であることを示すアイコンがウィジェットタブや検索ボックスに表示されます。

失効済み限月における日足以上(週足、月足等)のチャートは、CQG Desktop では現在から 3 年前の限月まで閲覧可能で、CQG One では際限なく閲覧可能です。
失効済み限月における日中足チャートは、CQG Desktop、CQG One どちらも現在から3ヵ月前の限月まで閲覧可能です。
※既存限月は限月コードにおける年部分の上一桁を省略できますが、失効済み限月は省略できません。例えば 2020 年 12 月に失効した限月であれば、上図左下のように、MJNKZ0 ではなく、MJNKZ20 と入力してください。

取引

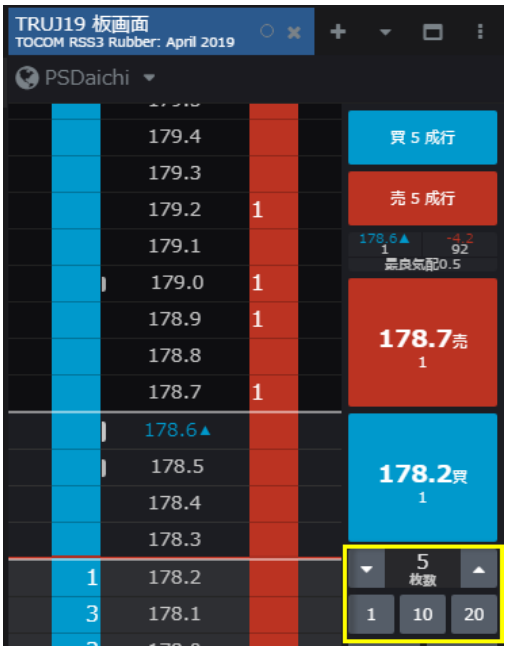
ウィジェットのリンク

22 ページ「ウィジェットのリンク」を参照してください。

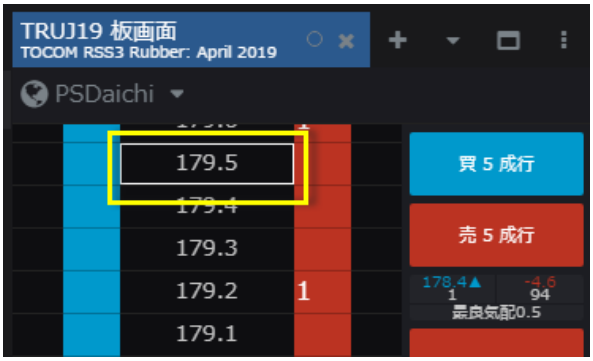
板画面

発注方法

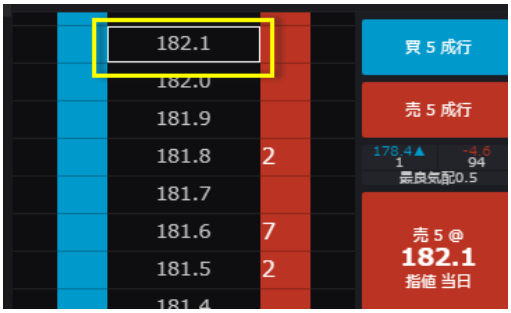
1. オーダーサイズコントロールにて注文枚数を指定します。



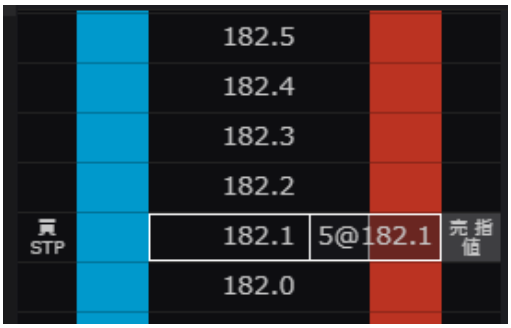
2. プライススケール上の値段をクリックします。



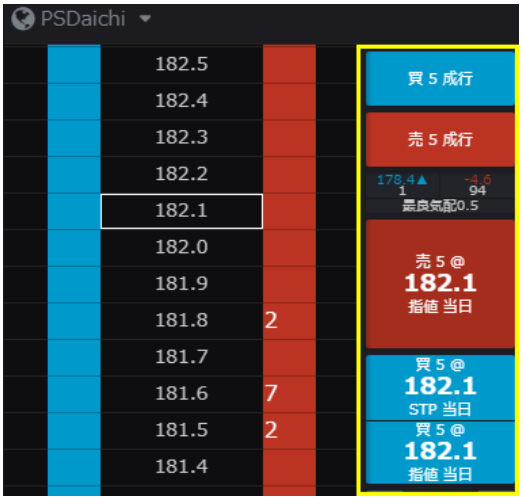
3. 希望の値段が表示されていない場合はマウスホイールもしくはキーボードの矢印キーを使用してプライススケールを上下に移動させ、値段をクリックします。



4-1. プライススケールの値段をクリックし、右（売）または左（買）にドラッグ＆ドロップするか、



4-2. オーダープレースメントボタンをクリックするか、

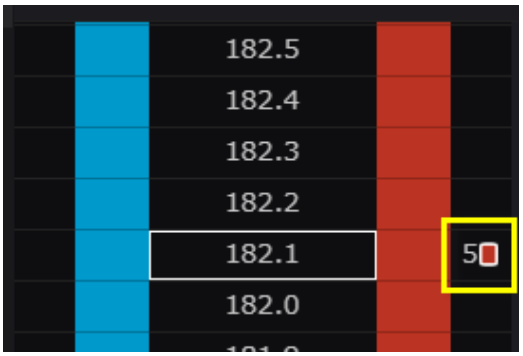


4-3. 買／売欄をクリックします。

注：板画面の買／売欄をクリックにて発注(確認画面付き)を有効にする必要があります。

5. 確認画面が表示されるので、“発注”をクリックします。

6. ワーキング注文は板画面の買／売欄に表示されます。



取引所ネイティブのカレンダースプレッド市場を発注する際は、確認画面に原市場への発注内容が表示されます。

キャンセル方法

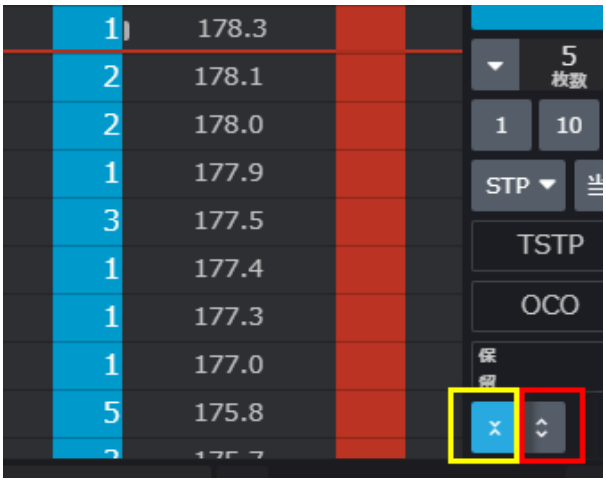
1. 買／売欄のワーキング注文をダブルクリックすると、注文情報が表示され、注文内容変更およびキャンセルが可能です。

2. または板画面 右クリックで注文キャンセルを有効にすることにより、買／売欄のワーキング注文を右クリックすると注文のキャンセルが可能です。

気配のない値段の表示／非表示

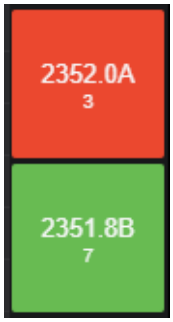
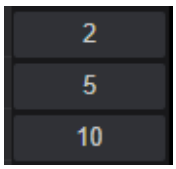
この機能は、特に流動性が低い市場におけるギャップ、つまり気配のない値段の表示／非表示（圧縮／拡大）を設定します。

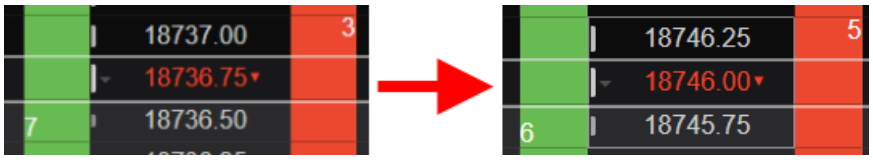
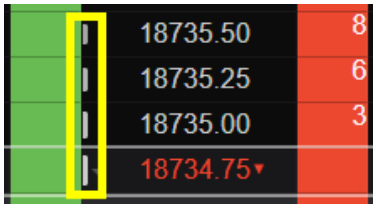
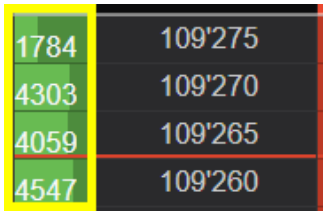
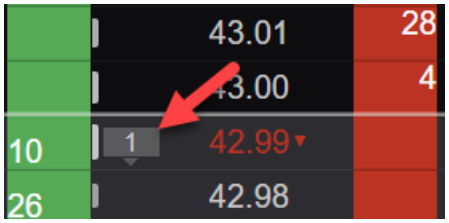
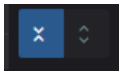
下図左側のボタン（黄色枠）を 1 回クリックすると最良気配間のギャップを非表示にし、2 回クリックすると最良気配外のギャップを非表示にします。
右側のボタン（赤枠）をクリックするとギャップを再表示します。

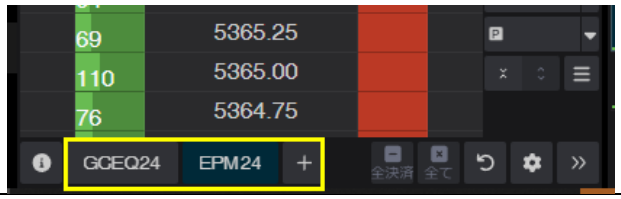


板画面のカスタマイズ

下図の**三つのドット**ボタン>「板画面の管理」をクリックすると、板画面のカスタマイズメニューが表示されます。

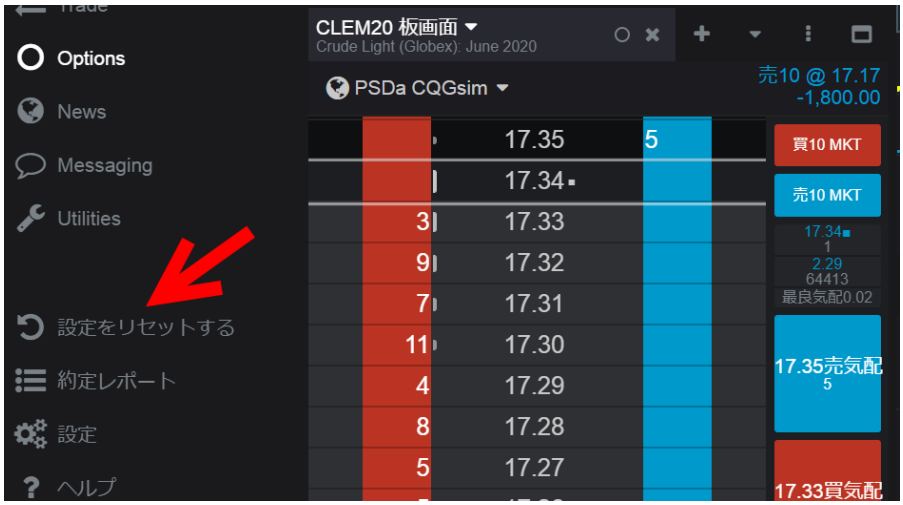
“銘柄コード”の取引設定...	板画面に表示中の銘柄における取引設定を行います。(P74)
“銘柄コード”の表示設定	板画面に表示中の銘柄における値段表記に関連する設定を行います。(P72)
注文枚数ボタンの初期設定と挙動“銘柄コード”	新しくダイアログが開き、表示中の銘柄における注文ボタンの設定を行います。(P74)
注文タイプ：ストップ、トレイリング、ブラケット注文...	新しくダイアログが開き、表示中の銘柄におけるストップ、トレイリング、ブラケット注文に関連する設定を行います。(P74)
注文アクション：キャンセル、仕切、保留...	新しくダイアログが開き、表示中の銘柄におけるキャンセル、仕切、保留に関連する設定を行います。(P74)
確認と通知	新しくダイアログが開き、注文確認と通知に関連する設定を行います。
成行注文ボタン	成行注文ボタンの表示/非表示を切り替えます。
インサイドマーケット、ストップ/リミットボタン	インサイドマーケット、ストップ/リミットボタンの表示/非表示を切り替えます。 
発注枚数ボタン	発注枚数ボタンの表示/非表示を切り替えます。 

キャンセルボタン	全注文・建玉キャンセルボタン、全注文キャンセルボタンの表示/非表示を切り替えます。
気配表示をハイライト表示	最良買い／売り気配における囲いの表示/非表示を切り替えます。 
直近の取引動向	直近値を示すマーク（下図）の表示/非表示を切り替えます。バーが大きいほど、より直近の取引を表します。 
DOM profile histograms	買い気配/売り気配カラムに、気配量に応じたヒストグラムの表示/非表示を切り替えます。 
出来高プロファイル(セッション)	列が追加され、現在のセッションにおける出来高プロファイルを表示します
直近値の出来高	直近取引における出来高の表示/非表示を切り替えます。 
プライスギャップ圧縮ボタン	プライスギャップ圧縮ボタンの表示/非表示を切り替えます。 
発注順位	注文順番の表示/非表示を切り替えます。
板表示の自動リセット	有効化すると、特定の価格を選択しておらず、且つスクロールで板を動かしていない場合のみ、設定した秒数後に自動的にセンタリングされます。
買・売気配列の分割	買い、売り気配を同列に配置するか、別々の列に配置するかを設定します。
買い/売り気配の色設定	有効化すると、買い、売り気配に色がつきます。
発注ボタン表示位置	発注、枚数ボタンなどの配置を設定します。

前日比/出来高情報	直近値、直近約定枚数、前日比、出来高、買い/売り気配における間隔の表示/非表示を切り替えます。
銘柄シンボルを切り替えるタブ	銘柄を切り替えるタブの表示/非表示を切り替えます。 
Detailed DOM ツール	Detailed DOM ツールボタンの表示/非表示を切り替えます。
シンセティックストラテジーから レッグ注文を表示	合成板で発注したワーキング注文の表示/非表示を切り替えます。 (CQG One のみ)

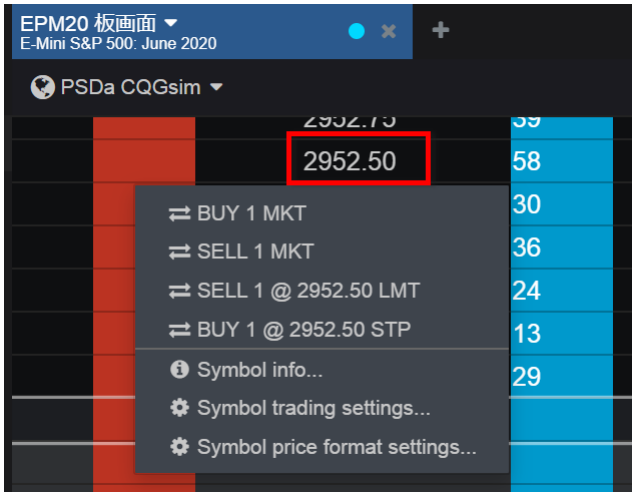
板画面のセンタリング

レフトバーの“設定をリセットする”ボタンをクリックすると板画面がセンタリングされます。



注文アクションメニュー

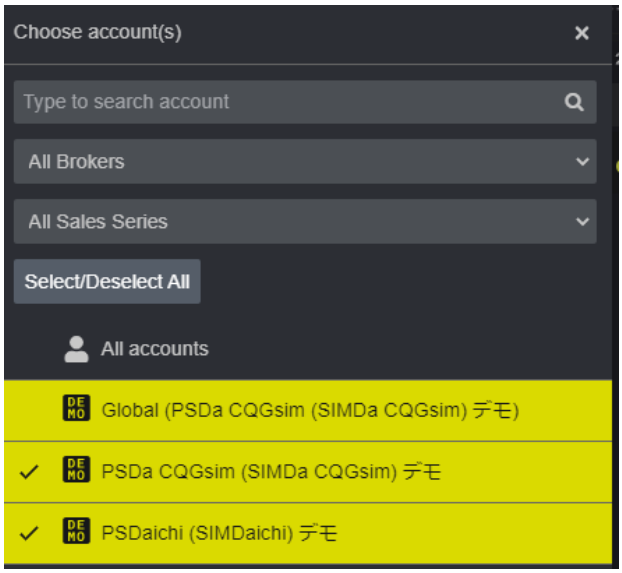
板画面のプライススケールをクリックすると、注文アクションメニューが表示されます。



アカウントピッカー

アカウントを変更する場合は板画面上部のアカウントピッカーをクリックしてください。

単一、もしくは複数のアカウントを同時に選択することもできます。



複数のアカウントを選択した場合、両アカウントの注文を同時に閲覧できますが、発注および訂正はできません。

スプレッドシート Trader

スプレッドシートトレーダーは銘柄情報と取引機能を一つにまとめたウィジェットです。

下図の**三つのドット**ボタンをクリックし**コラムの管理**を選択するとカラムの追加、削除ができます。

下図のドロップダウンをクリックすると最良気配より上下 5 本ずつの気配が表示されます。＋アイコンをクリックするとさらに上下 5 本ずつ、計 1 0 本の気配が表示されます。

発注方法

1. **枚数**カラムにて注文枚数を指定します。

2. 必要に応じてストップタイプと有効期限をツールバーより設定してください。

3-1. プライススケールの値段をクリックし、右(売り)または左(買)にドラッグ＆ドロップするか、

3-2. 買／売ボタンを使用し発注します。

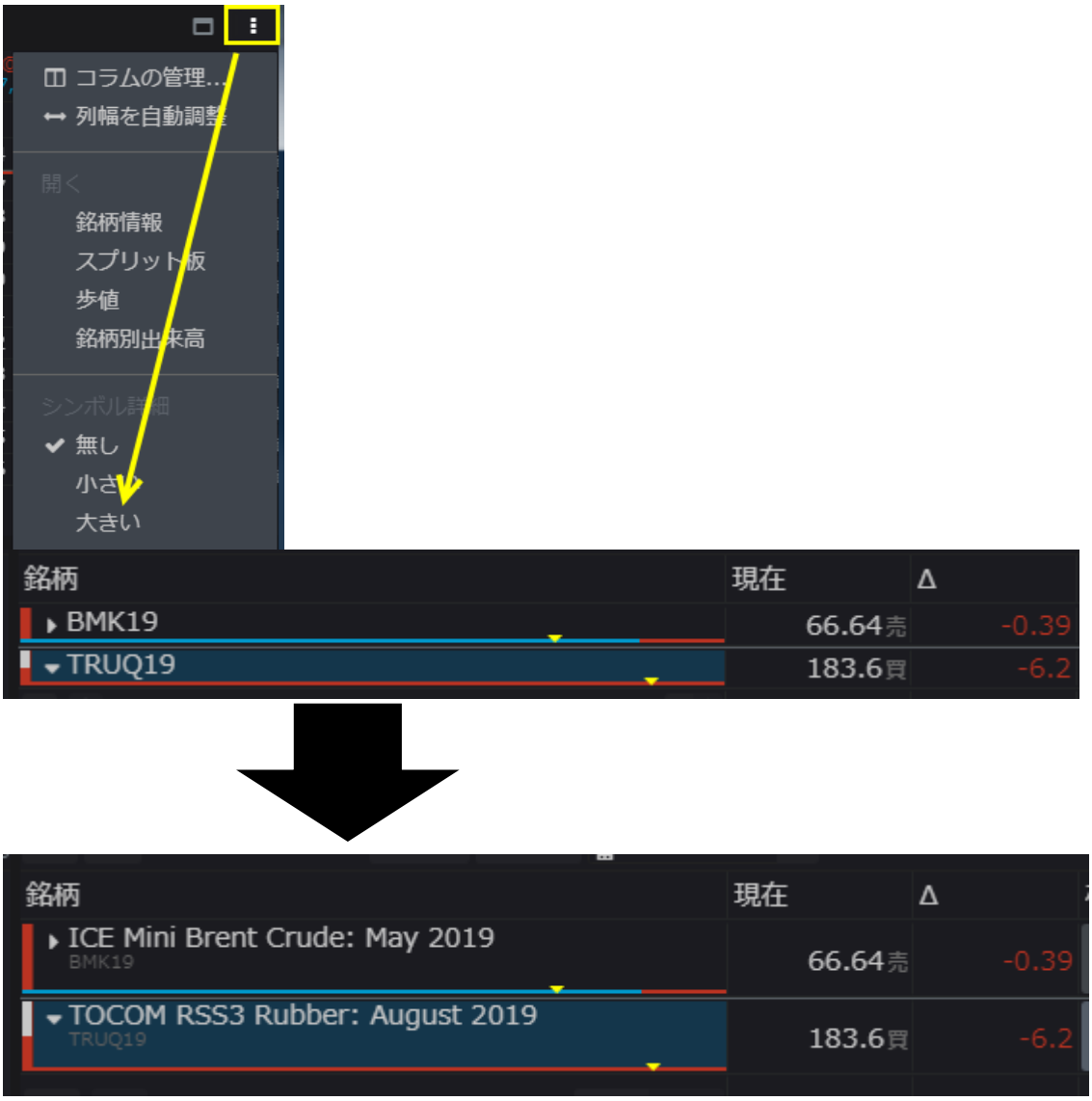
注文内容変更およびキャンセル

注文中カラムをドラッグ＆ドロップすると指値変更できます。

買／売欄のワーキング注文をダブルクリックすると、注文情報が表示され、注文内容変更およびキャンセルが可能です。

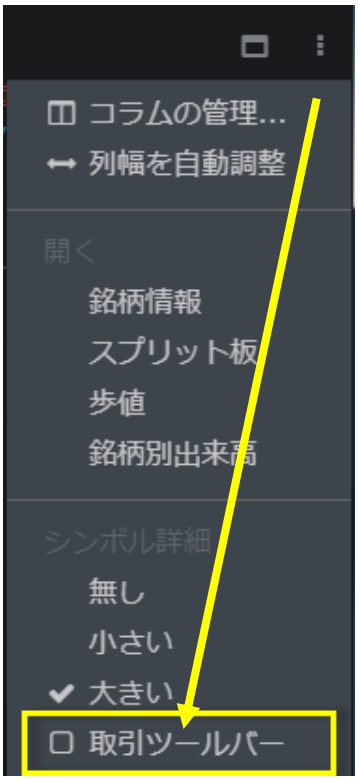
銘柄詳細の表示

下図**三つのドット**ボタンをクリックし**大きい**を選択すると、銘柄カラムに銘柄詳細が表示されます。



取引ツールバー

取引ツールバーは下図のメニューより**取引ツールバー**をクリックすると、トレーディングスプレッドシート上に表示されます。



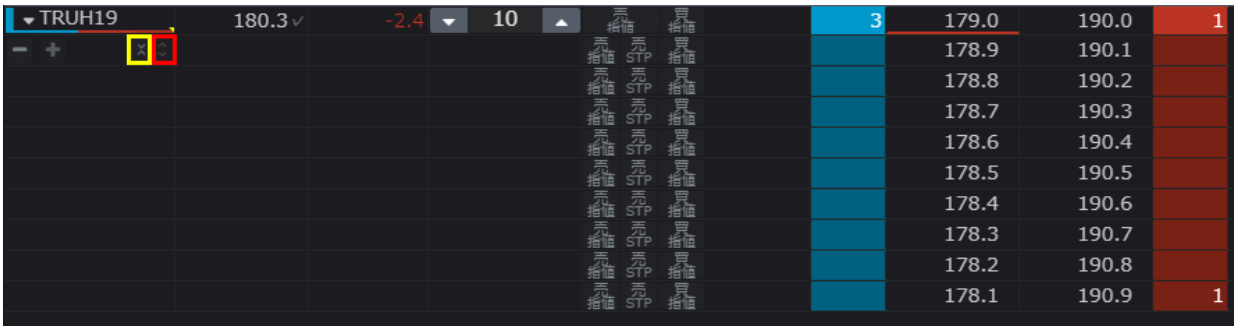
発注したい銘柄名をクリックすると、ツールバーにその銘柄が設定されます。設定されるとツールバー上に対象銘柄の建玉および注文状況が表示されます。

値段、枚数などの注文内容の設定をツールバーより設定し発注することができます。

気配のない値段の表示／非表示

このツールは、特に流動性が低い市場におけるギャップ、つまり気配のない値段の表示／非表示（圧縮／拡大）を設定します。

下図左側のボタン（黄色枠）をクリックすると最良気配外のギャップを非表示にします。



右側のボタン（赤枠）をクリックすると再表示します。

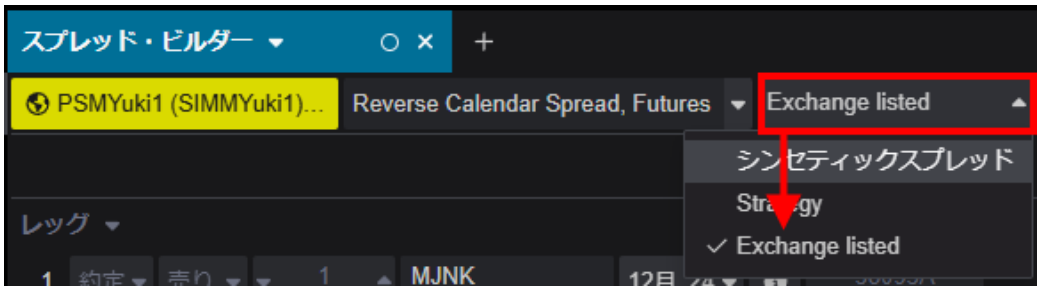
スプレッド・ビルダー

スプレッド・ビルダーを使うことで、以下の取引を行うことが可能です。

- 取引所がサポートするカレンダースプレッドの作成及び取引
- 異なる取引所間における合成板の作成及び取引(CQG One のみ)
- 取引所がサポートする UDS(ユーザー定義ストラテジー)の作成及び取引(P101 参照)

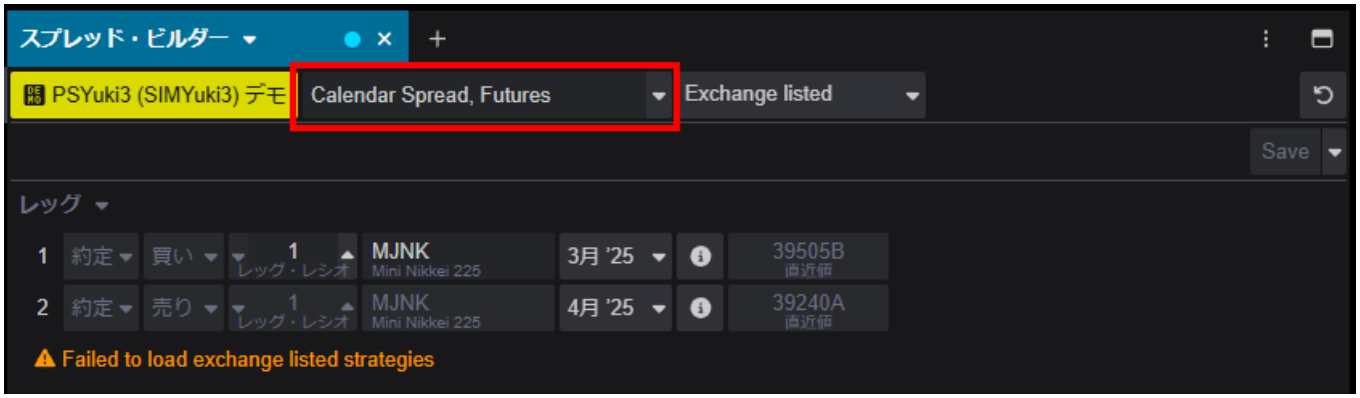
取引所がサポートするカレンダースプレッドの作成

スプレッド・ビルダーウィジェット右上のドロップダウンから、Exchange listed を選択します。

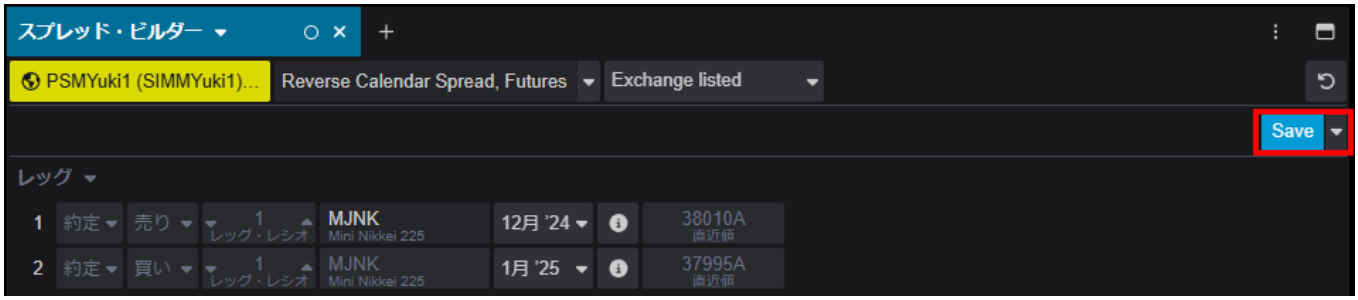


ウィジェットに以下の情報を入力します。スプレッドの種類を選択すると、そのスプレッドに合うようなストラテジーになるよう、一部項目がグレイアウトします。

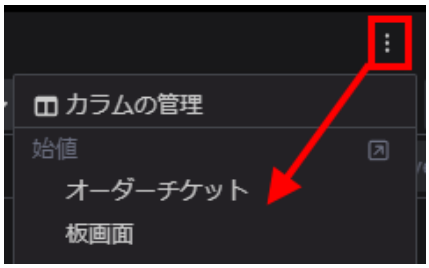
※取引所がサポートしていないスプレッドの種類を選択していると、エラー画面が表示されます。
例えば、OSE ミニ日経カレンダースプレッドの場合、サポートしているスプレッドの種類は「Reverse Calendar Spread, Futures」になるので、それ以外の種類を選択していてエラー画面が表示されます。



最後に、ウィジェット右上の Save をクリックすると、スプレッドが作成されます。Save をクリックする前に、板画面ウィジェットとスプレッド・ビルダーウィジェットをリンクしておくことで、Save をクリックした際に作成されたスプレッドが板画面に表示されます。ウィジェットのリンク方法については、P22 を参照してください。



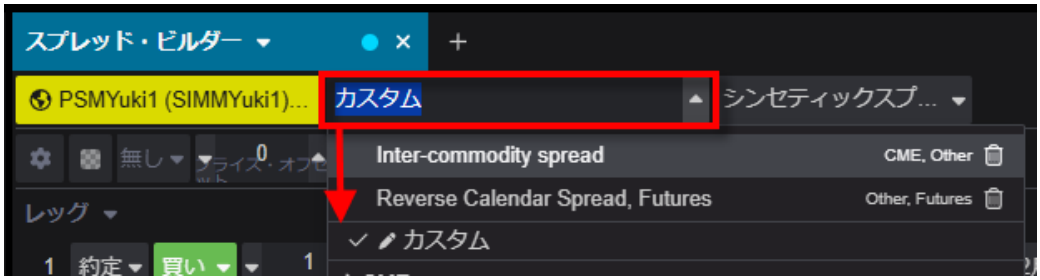
板画面ウィジェットとリンクしない場合、ウィジェット右上の ⋮ をクリックしてメニューを開き、**オーダーチケット**または**板画面**を選択することでウィジェットが開き、そのまま作成したスプレッドを取引できます。



異なる取引所間における合成板の作成及び取引(CQG One のみ)

スプレッド・ビルダーウィジェット右上のドロップダウンから、**シンセティックスプレッド**を選択します。

その後、左隣のドロップダウンから**カスタム**を選択します。

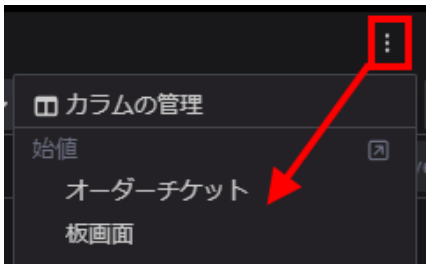


ウィジェットに以下の項目を入力します。

プライス・オフセット	ワーキングレッグの発注時、この数値を計算した値段へ発注されます。正、負の整数、小数を入力でき、買い、売り注文に関わらず、1 と入力した場合、発注されるべき価格より 1 円最良気配から離れた値段にて発注されます(取引通貨が円の場合)。
0.25	スプレッドの呼び値を設定します。
DOWN	スプレッド計算結果において、呼び値より多い小数点の処理方法を指定します。 UP＝常に切上げ、DOWN＝常に切下げ、MATH＝四捨五入
エイリアスのカスタム	任意の文字列を入力することで、板画面や相場表にその文字列を入力して作成したスプレッドを呼び出すことができるようになります。
買い	各レッグの買い、売りを指定します。
trade ratio	各レッグの取引比率を入力します。
プライス・レシオ	各レッグの計算比率を入力します。
EP E-Mini S&P 500	各レッグの銘柄コードを入力します。
3月 '25	各レッグの限月を指定します。
− +	レッグの追加及び削除ができます。

最後に、ウィジェット右上の Save をクリックするとスプレッドが作成されます。Save をクリックする前に、板画面ウィジェットとスプレッド・ビルダーウィジェットをリンクしておくことで、Save をクリックした際に作成されたスプレッドが板画面に表示されます。ウィジェットのリンク方法については、P22 を参照してください。

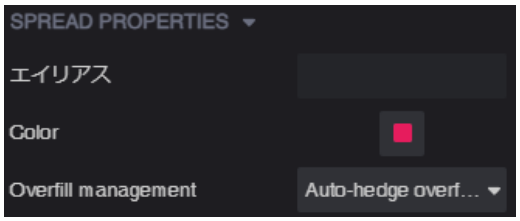
板画面ウィジェットとリンクしない場合、ウィジェット右上の ⋮ をクリックしてメニューを開き、**オーダーチケット**または**板画面**を選択することでウィジェットが開き、そのまま作成したスプレッドを取引できます。



スプレッドのパラメーター設定

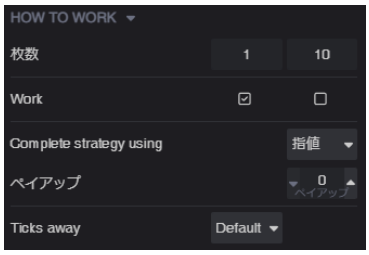
スプレッドの作成後、⚙をクリックしてパラメーターを設定できます。

SPREAD PROPERTIES



エイリアス	任意の文字列を入力することで、板画面や相場表にその文字列を入力して作成したスプレッドを呼び出すことができるようになります。
Color	板画面に表示した際の背景色を設定できます。
Overfill management	レッグ銘柄の取引が激しく行われている場合、設定以上の約定の可能性があります。 例）1:2 のスプレッドにて 5 枚の受付中注文（ワーキングオーダー）があった場合、もう片方のレッグは 10 枚となり 5：10 の約定設定となります。その場合、7：10 といった形で約定するケースがあります。このパラメータでは過約定の対応を設定します。 Manual...過約定が起こった場合でも何もアクションはありません。 Auto Hedge Overfills...レッグのどちらかが過約定を起こした際に、枚数比率を合わせようとします。ただし、例えば 1：2 の比率で 2 つ目のレッグが一枚の過約定した場合、1：3 という約定比率になり、1 つ目のレッグ枚数が 1.5 枚となるためヘッジができない場合もあります。 Avoid Overfills...取引所にて受付された注文（ワーキングレッグ）をアグレッシブに動かさず、過約定のリスクを減らします。特に枚数の追加、もしくは追加注文は、取引所からのメッセージの受信を確認後に行います。ワーキングレッグがひとつの場合に推奨される設定です。

HOW TO WORK

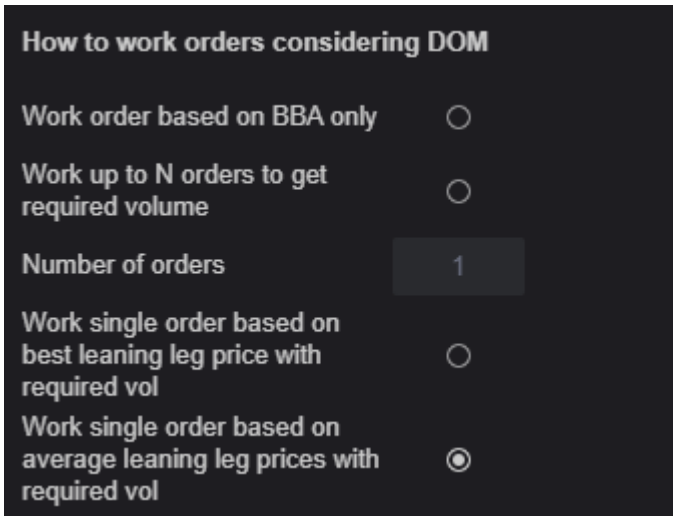


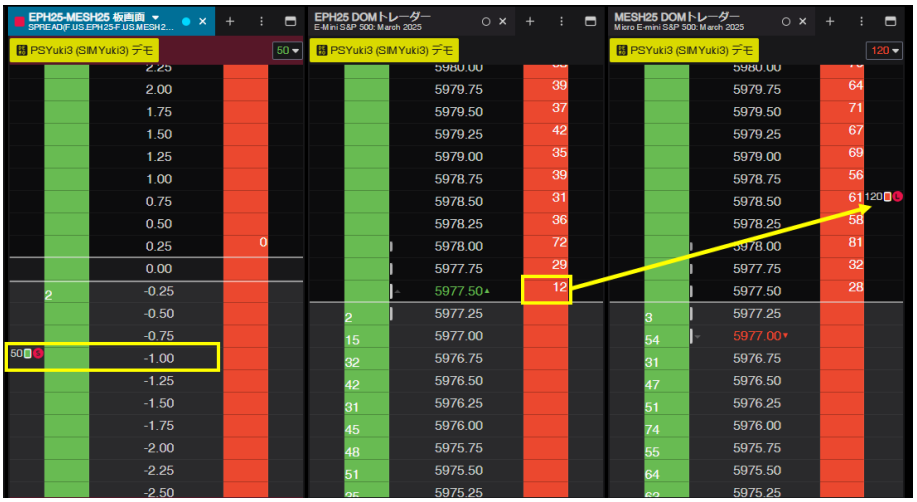
枚数	各レッグの枚数に反映されるレッグの比率を決めます。小数点にも対応します。
Work	取引所に発注するレッグ（ワーキングレッグ）を指定します。初期値では流動性が低いレッグがワーキングレッグとして設定されます。
Complete Strategy Using	ワーキングレッグの注文が約定した後の、オフセットレッグの執行条件を指定します。初期値はLMT（指値）となります。 LMT（指値） MKT（成行）
ペイアップ	未成立注文発生時、カバー注文の指値変更のティック数を設定します。正数、負数いずれも設定でき、正数を設定すると指値変更は最良気配値に近づき、負数にすると最良気配値から遠ざかります。
Ticks Away	追加発注をオリジナルの注文よりどれくらいのティック数を離して発注するか設定します。 オフセットレッグの最良気配枚数では対応できない枚数のスプレッド注文を発注しなくてはいけない場合の設定をします。 例えば 100 枚のスプレッド注文を発注した場合において、オフセットレッグの最良気配値に 23 枚だけしかないケースを想定します。この設定数値を 0 とした場合にはワーキングレッグには 23 枚だけ発注します。設定数値を 2 とした場合、23 枚をスプレッド注文の指値から計算した価格に発注し、同時に残数の 77 枚を 2 ティック離れた価格へ発注します。 初期値はサーバーサイドの設定となります。 Off 時は 0 となり、1 － 9 まで設定できます。

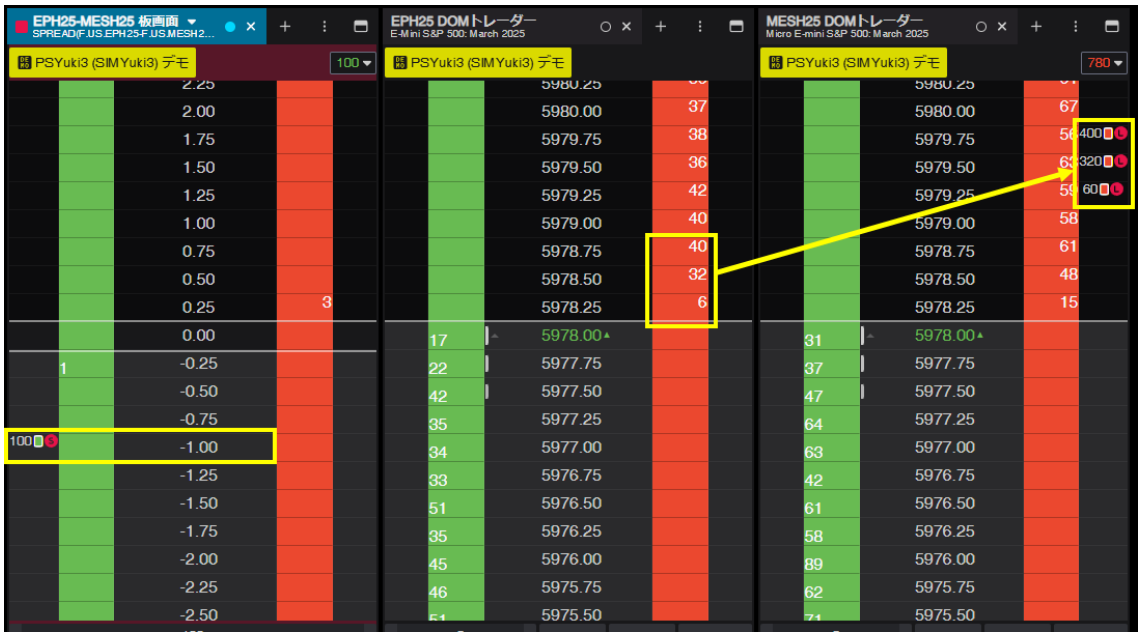
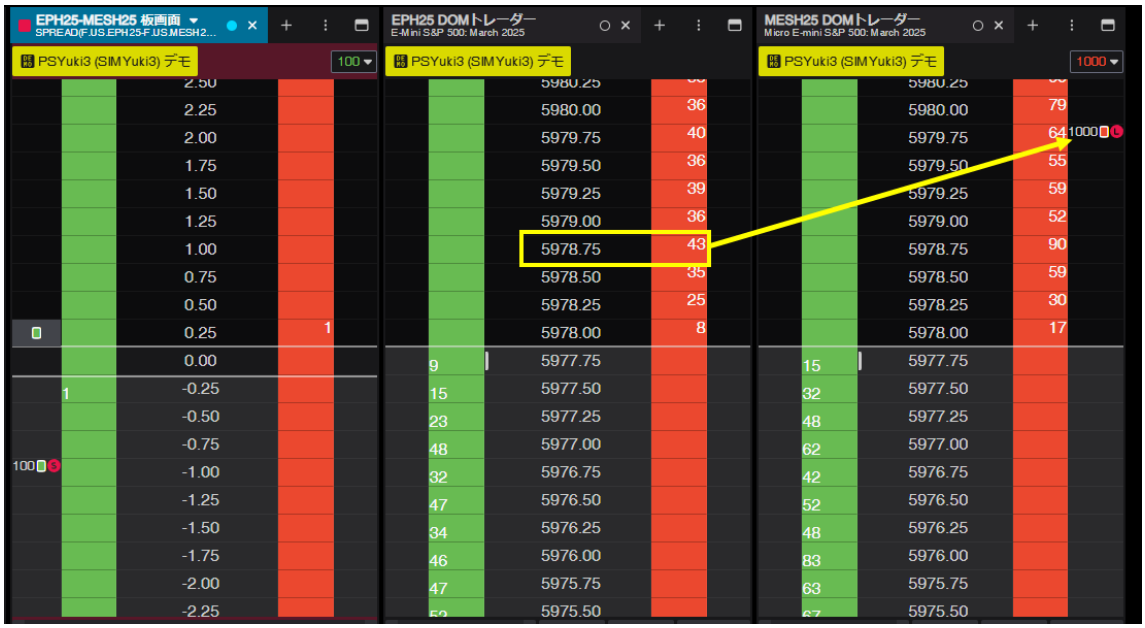
How to work orders considering DOM

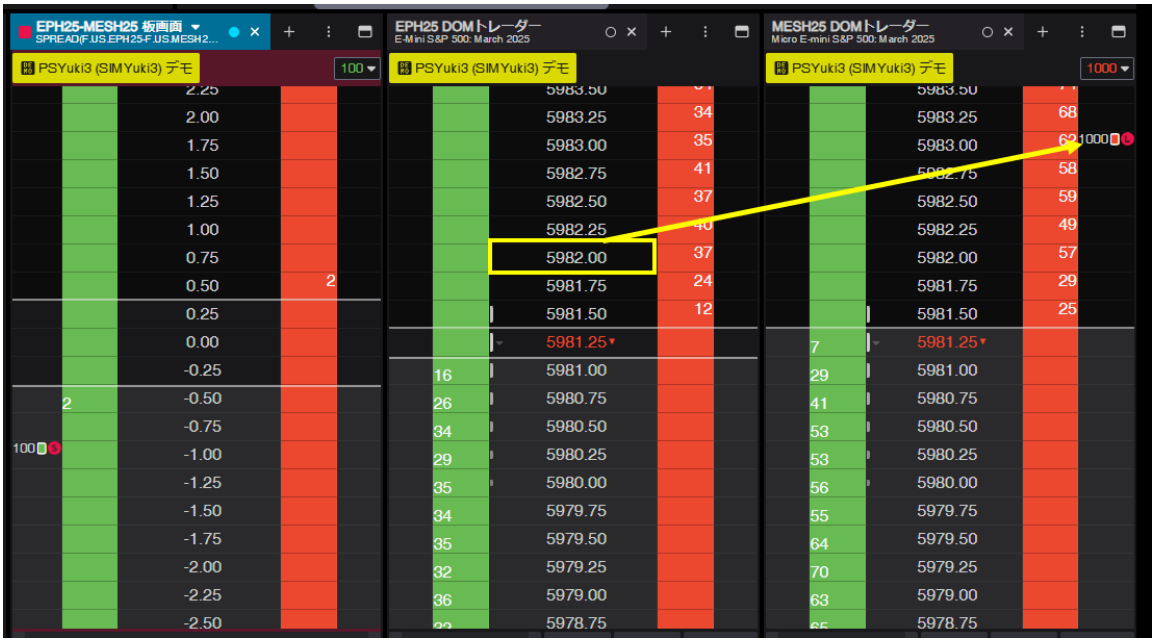
ワーキングレッグの比率が大きく且つオフセットレッグの流動性が低く、ワーキングレッグの総発注枚数が、オフセットレッグの気配枚数から計算すると一本値もしくは一括での約定が不可能な場合におけるワーキングレッグへの発注を制御するパラメーターとなります。

また、デフォルトの設定は Work single order based on average of leaning leg prices with required volume（下記参照）となります。



Work order based on BBA only	オフセットレッグの気配に基づいた枚数をワーキングレッグに発注します。 EPH25-MESH25 の板(下図左)において、比率を 1:10 に、ワーキングレッグを MESH25 とし、－1.00 に 50 枚買い発注した場合を想定します。 ワーキングレッグ(右)の注文は、オフセットレッグ(中央)の最優良気配枚数(12 枚)を基に計算され、120 枚が発注されます（気配枚数：12 枚×比率：10 倍）。 
Work up to N orders to get required volume	Number of orders で設定したティック数の範囲内で分割してワーキングレッグを発注します。 EPH25-MESH25 の板(下図左)において、比率を 1:10 に、ワーキングレッグを MESH25 とし、－1.00 に 100 枚買い発注した場合を想定します。 ワーキングレッグ（右）の注文は、オフセットレッグ（中央）における 3 ティック分の気配枚数：6→32→40×比率：10 倍である 60 枚→320 枚→400 枚の計 780 枚が発注されます。

	残数 220 枚(1000－780)は Number of Orders の設定外であるため、発注されません。 
Work single order based on bast leaning leg price with required vol	売気配／買気配の枚数を累計し、スプレッド注文の発注枚数×比率に到達した価格へ発注します。 EPH25-MESH25 の板(下図左)において、比率を 1:10 に、ワーキングレッグを MESH25 とし、－1.00 に 100 枚買い発注した場合を想定します。 ワーキングレッグ（右）への注文は、オフセットレッグ（中央）の最優良売気配 5978.00 より累計して 100 枚に達する価格 5978.75(8+25+35+43>100)を基準価格とし、スプレッド注文の指値 －1.00 を加算した値段 5979.75 に 1000 枚が発注されます。 
Work single order based on average leaning leg prices with required vol	売気配／買気配の枚数を累計し、スプレッド注文の発注枚数×比率に到達するまでの総気配の平均値に発注します。 EPH25-MESH25 の板(下図左)において、比率を 1:10 に、ワーキングレッグを MESH25 とし、－1.00 に 100 枚買い発注した場合を想定します。 ワーキングレッグ（右）への注文は、オフセットレッグ（中央）の最優良売気配 5981.50 から累計し 100 枚に達する価格 5982.25 までの加重平均 5982 を基準価格とし、スプレッド注文の指値 －1.00 を加

	算した値段 5983 に 1,000 枚が発注されます。  ※加重平均の計算 {5981.5*12+5981.75*24+5982*37+3982.25*(100-12-24-37)}/100=5981.948≒5982

MESSAGING

Min size increment	ワーキングレッグに適用され、トランザクション数を最小化します。 オフセットレッグの気配枚数が、設定枚数よりも増加した場合にのみワーキングオーダーの枚数を訂正します。 オフセットレッグの気配枚数が減った場合、ワーキングレッグの枚数は減るように訂正されます。

注文詳細

板画面上の注文をダブルクリックすると表示される注文情報内、Information アイコンをクリックすると注文詳細が表示されます。

板画面→ツールバーからの注文訂正方法

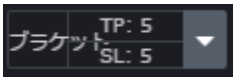
板画面に表示されている注文枚数表示をクリックするとワーキング注文が表示され、注文の訂正、キャンセルが可能です。

ブラケット&OCO 注文

ブラケット注文

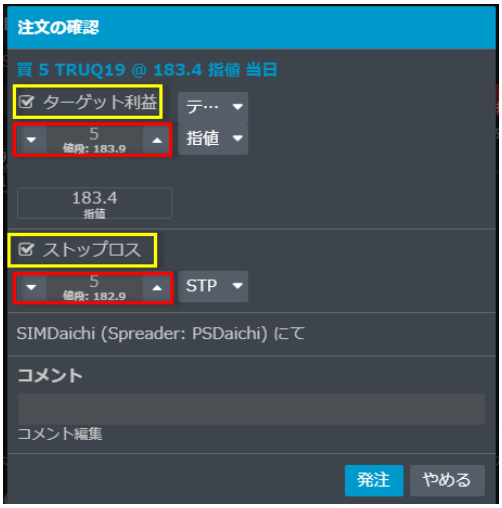
1. 発注にはブラケット注文が有効になっている必要があります。詳細はブラケット・OCO 注文設定参照。板画面にて、OCO ドロップダウンをクリックし、ブラケットモードを選択してください。

2. 下図のとおりブラケットモードに変更され、OCO 注文（ターゲット（TP）及びストップロス（SL））のデフォルトティック数が表示されます。デフォルトティック数の変更はブラケット・OCO 注文設定を参照。

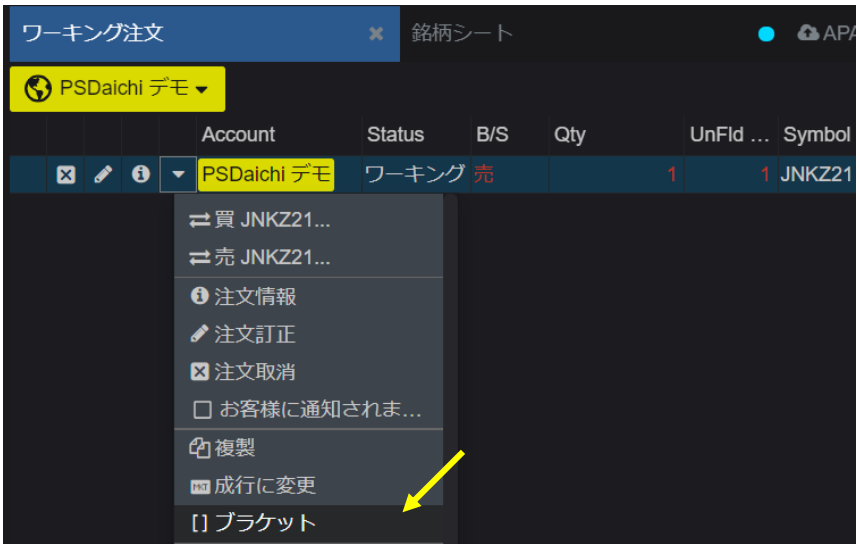


3. ブラケットボタンをクリックするとオレンジ色になり、次の発注からブラケット注文になります（再度クリックするとブラケットモードが無効になります。）。

4. ブラケット注文発注の際、注文確認画面が下図のとおり表示されます。黄色枠内のチェックを外すとターゲット利益／ストップロス注文の何れか、もしくは両方が無効になります。
   ティック数を変更するためには赤枠内の数値を変更してください。

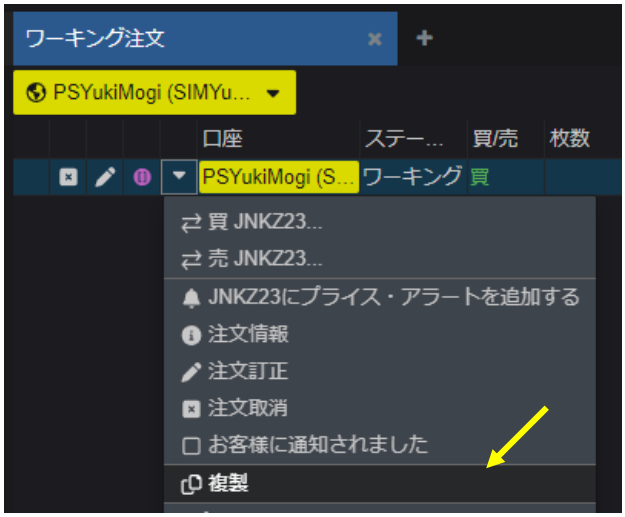


また、ワーキング注文ウィジェットより、下図のとおり通常の指値注文をブラケット注文に変更可能です。



ブラケット注文の複製

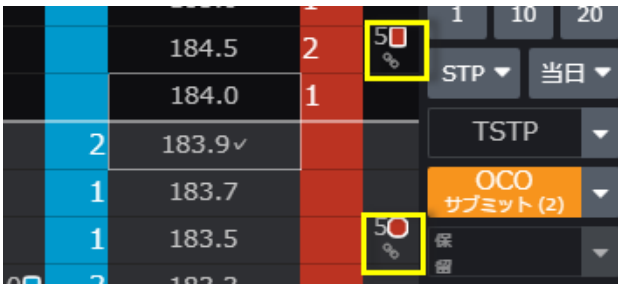
注文ウィジェットやワーキング注文ウィジェットなどから、下図の通りブラケット注文を複製できます。



OCO 注文

1. OCO ボタンをクリックするとオレンジ色になり、次の発注から OCO 注文になります。（再度クリックすると OCO モードが無効になります。）

2. 板画面より指値注文と逆指値注文の発注操作(発注方法参照)してください。下図のとおり OCO ボタンにサブミット(2)と表示されます（両注文は実際にはまだ発注されていません）。



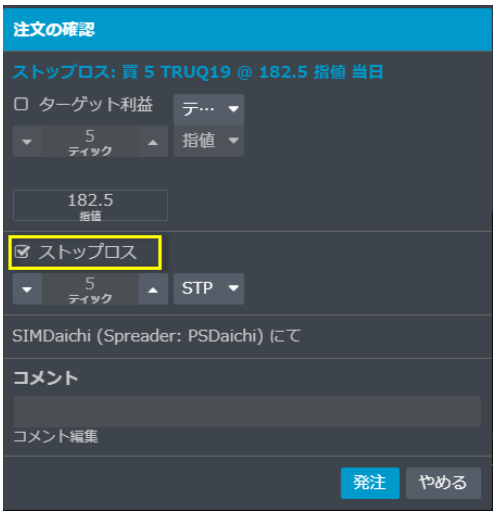
3. OCO ボタンをもう一度クリックすると下図のとおり注文確認画面が表示されます。2orders **を発注します。**をクリックすると OCO 注文が発注されます。

約定レポートからの発注

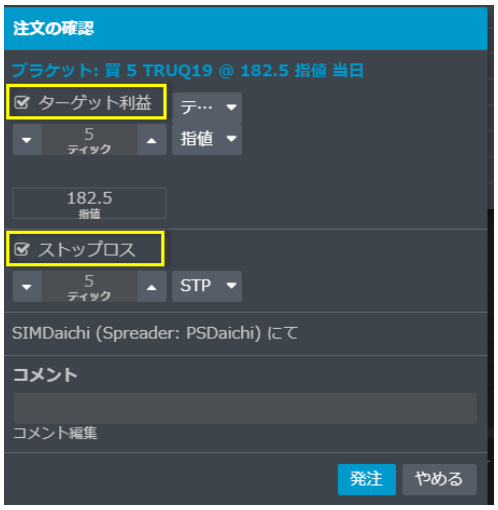
約定レポートからストップロスおよびブラケット注文を発注できます。約定レポートのドロップダウンをクリックすると、注文種類が表示されます。**重複**を選択すると同じ内容の注文を再度発注できます。

ストップロスを選択するとストップロスが、ブラケットを選択するとターゲット利益およびストップロスが有効になった注文画面がそれぞれ表示されます。

［ストップロス］



［ブラケット］



なお、注文ウィジェット(約定済)からは、下図のドロップダウンをクリックすると同様に注文種類が表示されます。

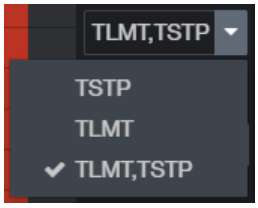
トレイリングリミット／ストップ注文

トレイリングリミット注文はマーケットの変動に合わせて自動的に指値を調整します。
買い注文の場合、最良買／売気配／直近値（注１参照）が上昇すると、買い注文も追跡し上昇します。反対に最良買／売気配／直近値が下落した場合は買い注文は動きません。
売り注文の場合は最良買／売気配／直近値が下落すると、売り注文も下げ幅と同じだけ下落します。
注１：どの値段を追跡するかは設定によって異なります（トレーリング注文設定参照）。

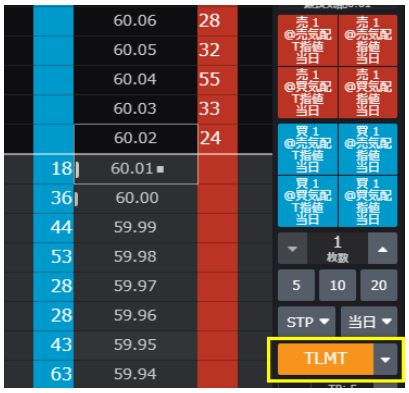
トレイリングリミットの売り注文を例に挙げると、１０３円に売り注文を発注した時点で、最良売り気配値が１００円だったとします。売り注文と気配値は３ティック離れています。気配値が９７円まで下がると売り注文はそれを追跡し１００円に降りてきます。その後気配値が１００円に戻っても売り注文は１００円にとどまります。
トレイリングストップの場合、売注文のトリガー価格は、気配値が上昇したときには同じ距離をもって追跡しますが、気配値が下落した場合は同じ価格にとどまります。
トレイリング注文を有効にするためにはトレーリング注文設定を参照してください。なお、トレイリング注文は指値の変更ができません。

発注方法

1. トレイリングボタンのドロップダウンをクリックし、TSTP（Trailing Stop）、TLMT（Trailing Limit）、TLMT,TSTP（Trailing Limit および Trailing Stop）を選択します。



2. トレイリングボタンをクリックするとオレンジ色になり、トレイリングモードが有効になります。（再度クリックすると無効になります。）



3. 通常の指値／逆指値注文と同様にプライススケールの値段をクリックし、右(売り)または左(買)にドラッグ＆ドロップするか、オーダープレースメントボタンを使用しトレイリング注文を発注します。

アイスバーグ注文

アイスバーグ注文は当日および GTC の二種類があります。これらの注文は Globex、Ice、Montreal および BrokerTec 取引所で対応しています。

注文ウィジェットに**表示枚数**カラムを追加することによって、小口注文枚数を確認できます。

アイスバーグ注文を有効にするためにはアイスバーグ注文設定を参照してください。

発注方法

1. 注文種類のドロップダウンより ICBG 当日もしくは ICBG GTC を選択します。

2. 注文の発注操作(発注方法参照)を行うと下図のような確認画面が表示されます。必要に応じて表示（小口）枚数もしくは％を変更してください。

3. 合計枚数、表示枚数は注文タブに下図のとおり表示されます。

合計枚数カラム、表示枚数カラムは**コラムの管理**より、下図のとおり注文枚数が合計枚数、表示枚数が小口枚数となります。

表示注文枚数の変更

下図の通り、板状の発注済みアイスバーグ注文をダブルクリック→注文詳細をクリックし注文訂正画面を表示させることにより、表示（小口）注文枚数の変更ができます。

成行注文に変更

オーダーウィジェットのドロップダウンをクリックし、**変更**をクリックすると指値／逆指値注文を成行注文に変更できます。

キャンセル・期限切れ注文の再発注

キャンセル注文ウィジェットにて、注文のドロップダウンをクリックし、Renew order をクリックします。

対象の注文と同様の条件で注文が作成されます。最下段のボタンをクリックすると確認画面が表示され、その後発注されます。

保留注文（パーク）および保留解除

保留方法

Park/Activate 注文はデフォルトで板画面に表示されています。

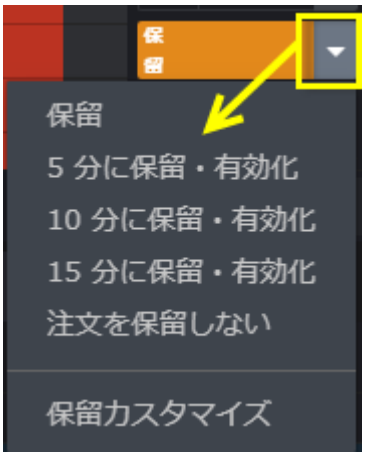
表示／非表示の設定は、レフトバーより設定をクリックし、下図のとおり検索ボックスに“park”と入力すると Park/Activate **注文を有効**にする設定画面が表示されます。

板画面からの保留注文発注

注文の保留機能を有効にすると、板画面上に下図のとおり保留コントロールボタンが表示されます。

保留コントロールボタンをクリックするとオレンジ色にハイライトされ、次に発注する注文から保留注文となります。再度クリックすると保留注文機能が無効になります。

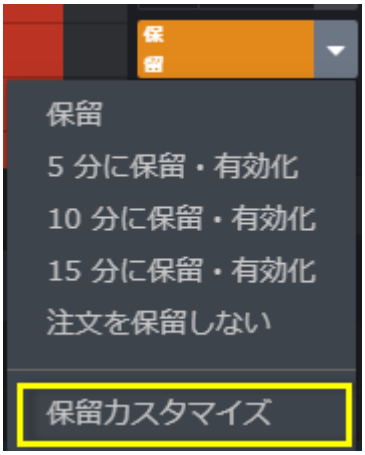
保留コントロールボタンのドロップダウンをクリックすると保留時間を下図のとおり指定できます。



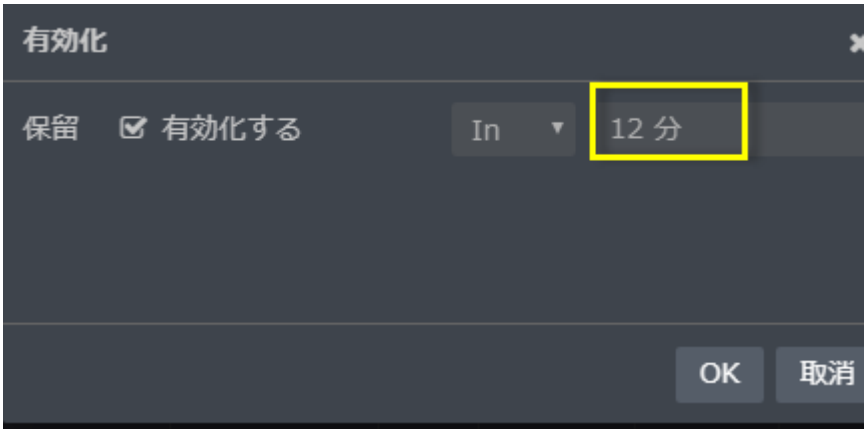
保留時間のカスタマイズ

５、１０、１５分以外の時間を保留時間に追加したい場合は下記手順を実行してください。

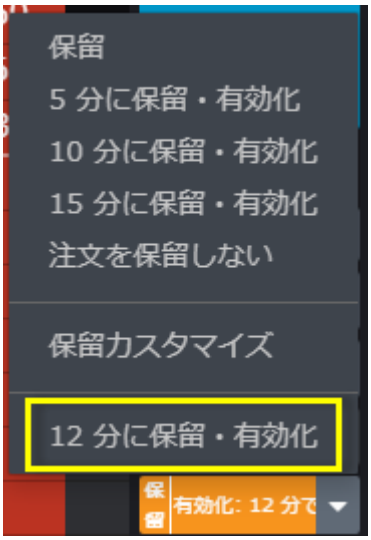
1. 保留コントロールボタンのドロップダウンをクリックし**保留カスタマイズ**をクリック



2. 追加したい時間を入力し、OK をクリック

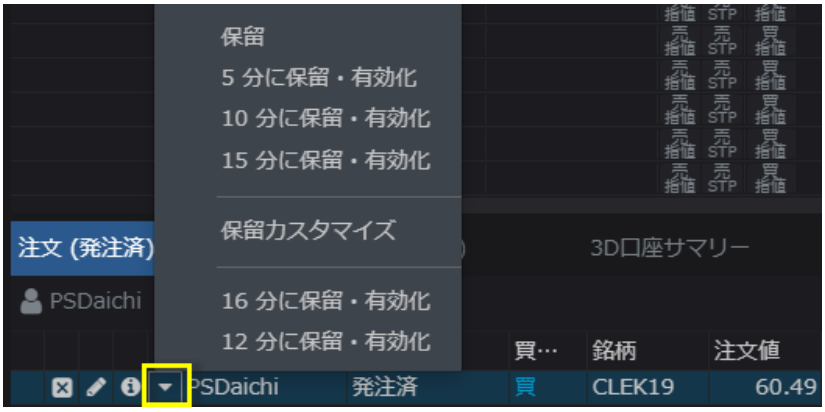


3. 保留コントロールボタンのに下図のとおり追加されます。



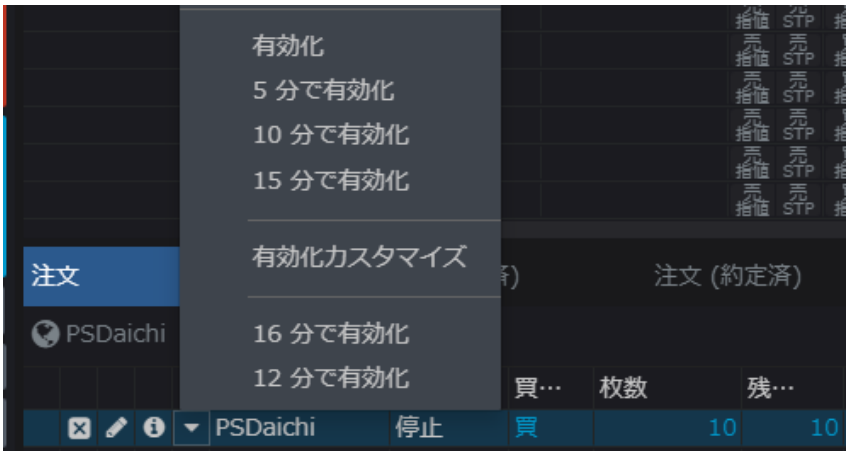
注文ウィジェットからの注文の保留

注文ウィジェットから注文の保留が可能です。下図のとおりドロップダウンをクリックすると保留メニューが表示されます。



保留解除

保留注文にステータスを変更すると、注文（発注済）タブ上では非表示となり、注文タブ上でのみ表示されます。保留解除するためにはドロップダウンをクリックし、**有効化**、もしくは XX **分で有効化**をクリックしてください。



全注文の保留および保留解除

全注文を保留状態にするには下図の**保留全て**ボタンを、全注文を保留解除する場合は**有効全て**ボタンをクリックしてください。

＜注文ウィジェット＞

＜板画面＞

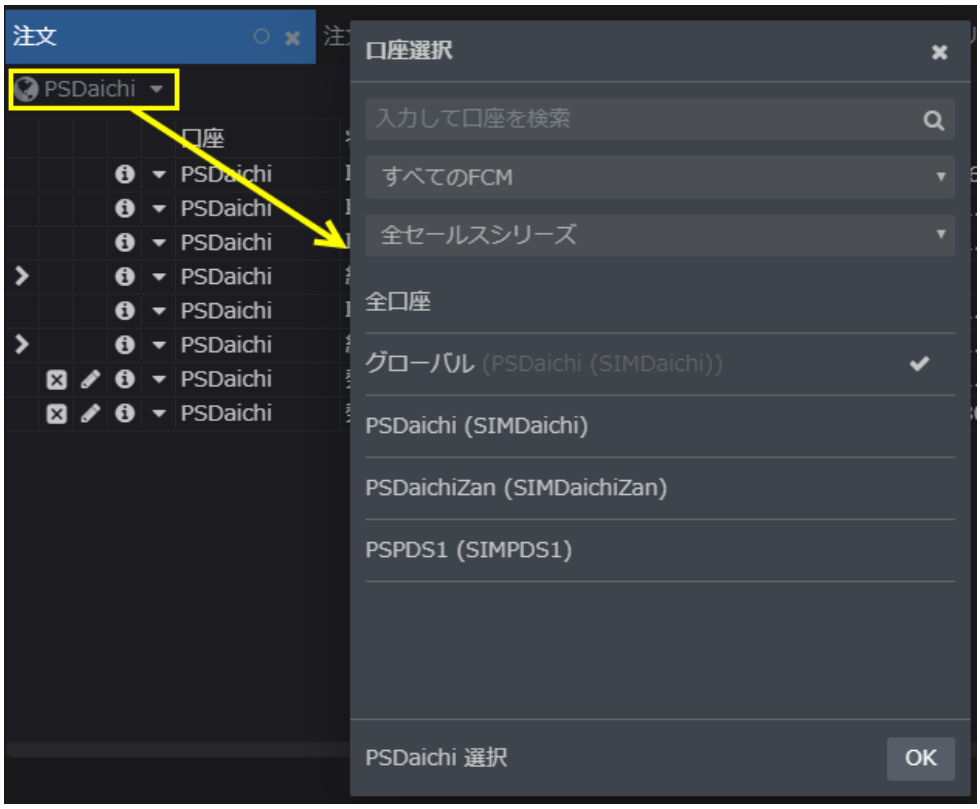
全建玉決済ボタン

選択、表示されている銘柄の全建玉を決済する場合は、板画面内、下図のドロップダウンより全決済ボタンをクリックしてください。

注文、建玉照会、口座情報ウィジェットの設定、使用方法

口座選択

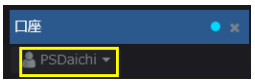
注文、建玉照会、口座情報ウィジェットで、下図のとおりアカウントフィルタをクリックするとダイアログが開き、アカウントを変更することができます。



板画面と口座情報ウィジェットのリンク

板画面を口座情報ウィジェットとリンクさせることで、簡単に板画面上の口座変更ができます。

1. レフトバーの**取引**より**口座ウィジェット**を開きます。
2. ツールバーの口座選択メニューをクリックし、**口座選択**ダイアログを開き、**全口座**を選択します。



3. 板画面と口座ウィジェットをリンクさせます。
4. 口座ウィジェット内の口座をクリックするとそれに応じて板画面の口座が変更されます。

口座カラムの色変更

口座情報ウィジェット内、特定の口座上で右クリックし、**色変更**をクリックするとセルの色を変更できます。

口座情報、注文、建玉ウィジェットのフィルター

口座、注文、建玉ウィジェットなどの、ツールバーの右上にある検索ボックスに任意の文言を入力するとフィルターをかけることができます。

注文のフィルター（ダイアログ）

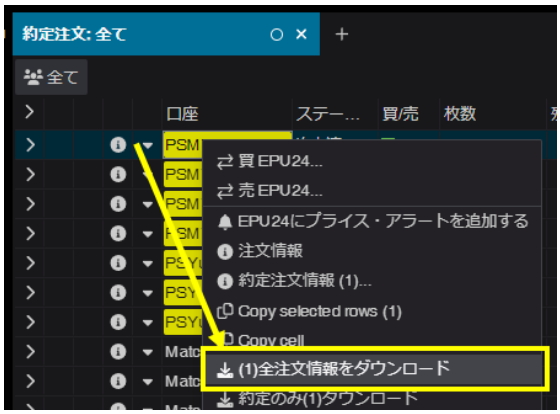
注文ウィジェット内のツールバーよりフィルターボタン→Filter dialog をクリックして開かれたダイアログボックスにて条件を設定すると条件に一致した注文のみ表示されます。過去の注文は３０日前まで閲覧可能です。

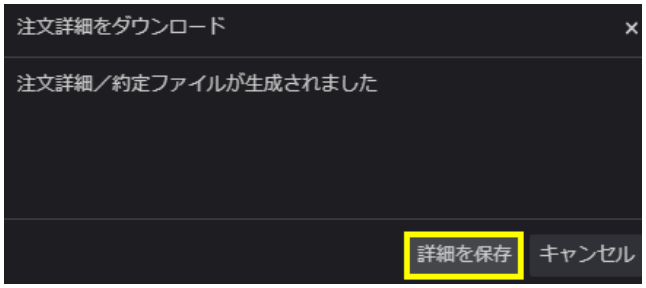
注文のフィルター（カラム）

注文ウィジェット内のツールバーよりフィルターボタン→Filter by column をクリックすると、各カラムで条件を絞り表示することができます。下記は買/売カラムにて売注文に条件を絞っています。

注文レポートの出力(テキスト形式)

対象の注文を選択、または Shift+クリックで複数選択後、対象の注文情報を右クリック＞「全注文情報をダウンロード」＞「詳細を保存」を選択することで、注文レポートをテキスト形式で出力できます。





出力情報は下記スクリーンショットの通りです。

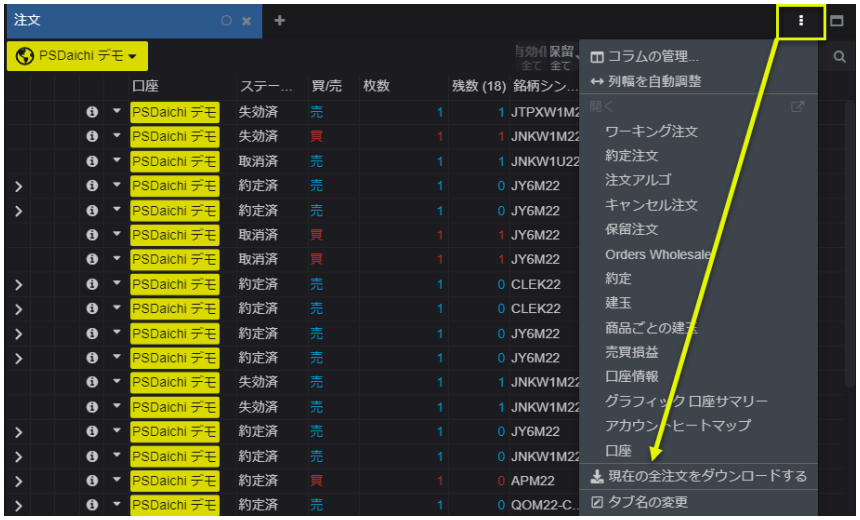
```
買 5 EPU24 @ 5592.25 指値 当日

ID 2F08-40E634AC7E7BA376
注文No. 1741353694
サーバー注文No. 1741353694
銘柄 EPU24
注文タイプ 指値
ユーザー YukiMogi2
FCM Spreader
口座 PSMYuki1 (SIMMYuki1) デモ
ステータス 約定済
コメント
変更時刻 2024/07/04 22:33:42.817


注文履歴:
2024/07/04 18:22:14.942 - 送信中 (MiFID exec: NORE) by YukiMogi2
2024/07/04 18:22:14.945 - 注文中 (MiFID exec: NORE)
2024/07/04 22:33:42.814 - 約定 2 @ 5592.25     (MiFID exec: NORE)
2024/07/04 22:33:42.815 - 約定 1 @ 5592.25     (MiFID exec: NORE)
2024/07/04 22:33:42.816 - 約定 1 @ 5592.25     (MiFID exec: NORE)
2024/07/04 22:33:42.817 - 約定 1 @ 5592.25     (MiFID exec: NORE)
```

注文レポートの出力

上記「過去の注文検索、閲覧」にてカスタマイズした注文内容を、CSV 形式で出力することができます。出力対象カラムおよびその並びは注文ウィジェットの設定に準拠します。



注文レポートが出力できるウィジェットは以下の通りです。

注文	キャンセル注文	注文アルゴ	保留注文
約定	建玉	売買損益	

商品ごとの建玉

“商品ごとの建玉”ウィジェットは、下図のとおり商品および限月ごとに建玉枚数を表示します。

銘柄コード（シンボル）

新たに追加するウィジェットのシンボル

新たにチャートや板画面を追加する際、追加時に選択していたウィジェット内のシンボルが新たに追加したウィジェットに配置されます。

銘柄コードの変更

各ウィジェット上の、下図の＋ボタンで銘柄の追加ができます。

検索ボックス内にシンボルや商品名などを入力すると、それに見合った商品が候補として表示されます。ご希望のシンボルを選択し OK をクリックすると銘柄が追加されます。

リストを開く

ページに**銘柄シート**ウィジェットを追加すると、**リストを開く**ダイアログが開きます。ダイアログの中には、代表的な関連商品群をまとめた銘柄リストが表示されます。

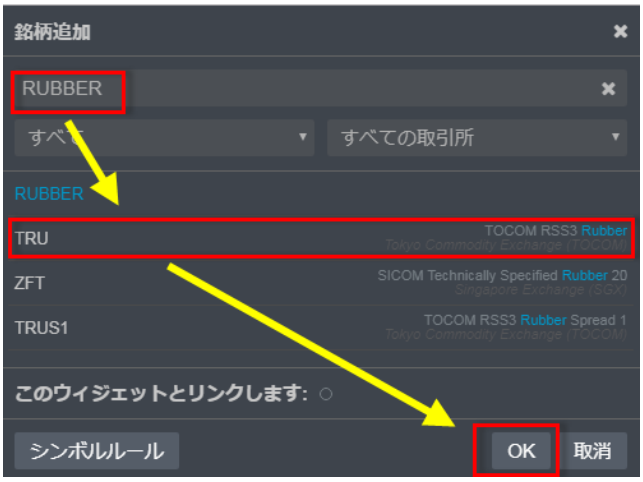
また、検索ボックス内に任意のキーワード、例えば‘crude’と入力するとその文言を含んだ銘柄リストが表示され、‘WTI Crude Futures’を選択すると、ICE WTI Light Sweet Crude Oil の銘柄リストが表示されます。

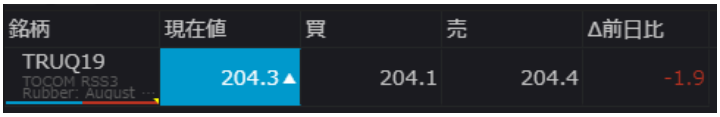
リストを開くダイアログ内の**新規リスト**ボタンをクリックすると下図の検索ダイアログが開きます。任意のキーワードを入力すると関連商品が表示されるので、対象のシンボルを選択し OK をクリックすると銘柄情報が表示されます。

銘柄追加

ブランクのリストに銘柄を追加する場合には、**銘柄追加**ボタンをクリックし**銘柄追加**ダイアログを開きます。

検索ボックス内にシンボル（銘柄コード）や商品名などを入力すると、それに見合った銘柄が候補として表示されます。対象のシンボルを選択し OK をクリックすると銘柄が追加されます。





銘柄シートのオプション

銘柄シートウィジェットのタブをクリックすると下図のとおり利用可能なオプションが表示されます。

［銘柄リストが保存されていない場合］　　［保存されている場合］

新規	新規リスト（ブランクのリスト）を開き、現行のリストを閉じます。現行のリストにおける直近の変更内容は自動保存されます。
銘柄リスト	**リストを開く**ダイアログを開きます。
名前の変更	銘柄リスト（シンボルリスト）名の変更ダイアログが開きます。
コピーする	現在開いている　銘柄リスト（シンボルリスト）をコピーします。**シンボルリストのコピー**ダイアログが開くので新しい名前を入力してください。
シンボルリスト共有	銘柄リスト（シンボルリスト）のリンクを作成し送信するダイアログが表示されます。

歩み値（Time&Sales）

レフトバーの Quotes グループより歩み値をクリックすると、下図の歩み値を表示できます。

ページ下部の入力ボックスより銘柄を変更できます。また、ページ右上の設定ボタンよりカラムの編集が可能です。

設定

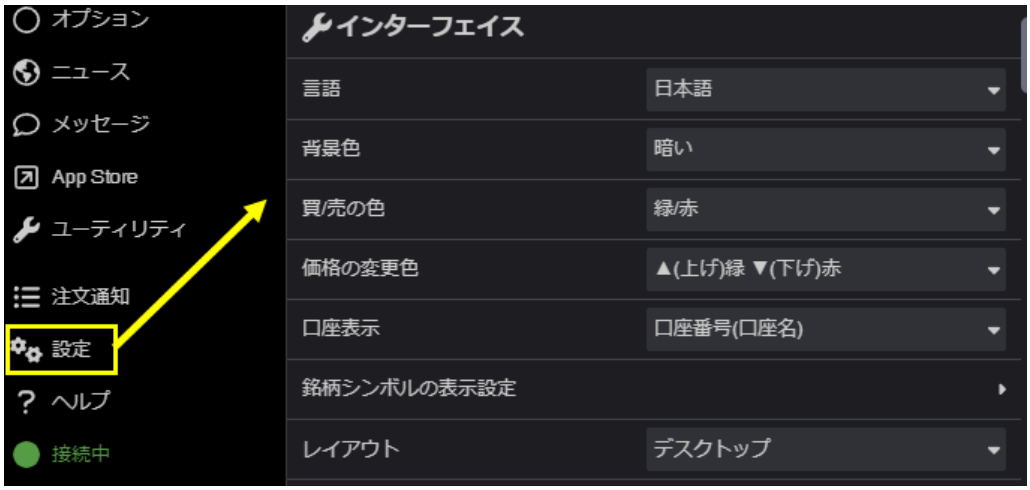
基本設定

パスワード変更

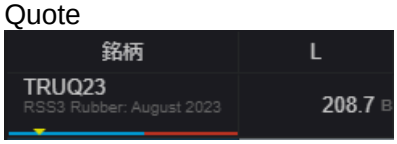
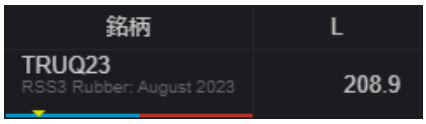
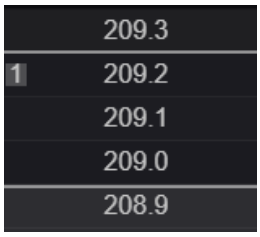
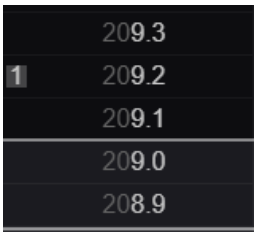
レフトバーの**設定**→**パスワード変更**よりパスワードの変更ができます。

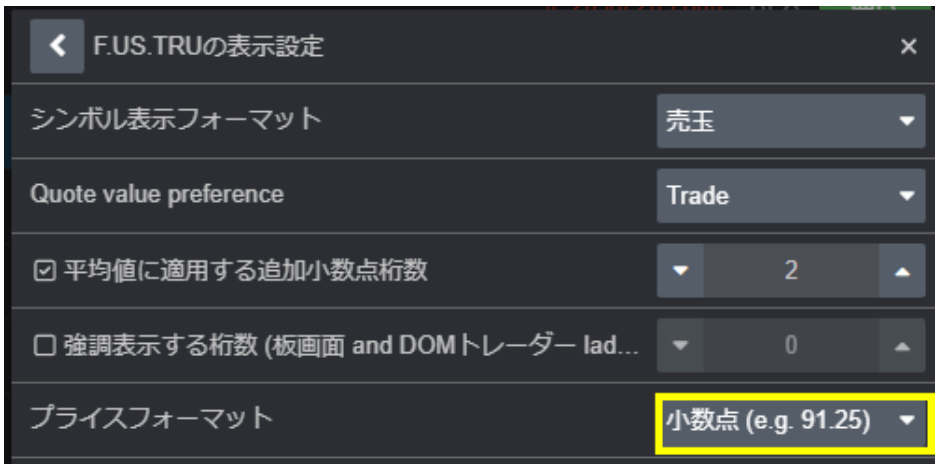
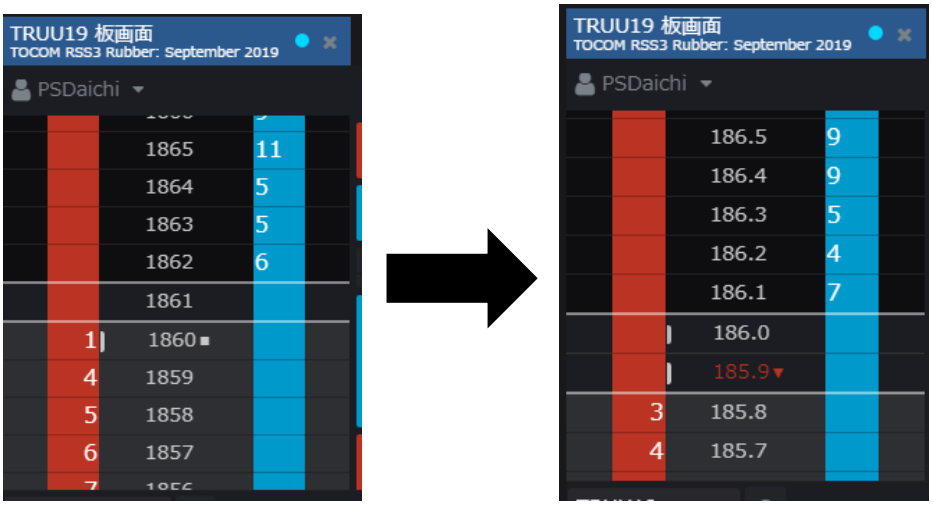
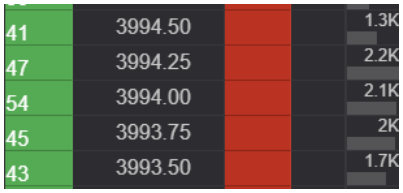
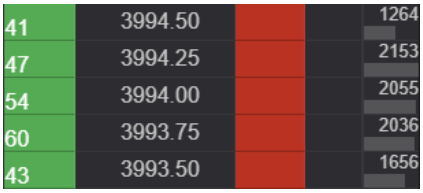
インターフェイス

設定→インターフェイスの設定内容はそれぞれ下記のとおりです。



言語	英語、日本語など様々な言語を選択できます。
背景色	暗いまたは明るいから設定できます。
買/売の色	板画面など各ウィジェットにおける買／売の背景色を選択できます。
価格の変更色	銘柄シートなどの前日比表示において前日比プラスおよびマイナス時の文字色を選択します。
口座表示	各ウィジェットに表示される口座表示が口座番号、口座名、口座番号(口座名)から選択できます。

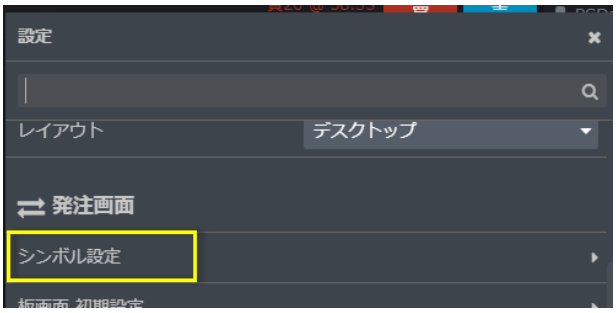
銘柄シンボルの表示設定	シンボルの表記に関わる設定を行います。全銘柄共通の設定、またはシンボル追加をクリックし、特定銘柄のシンボル表記を設定できます。
シンボル表示フォーマット (銘柄シンボルの表示設定配下)	各ウィジェットにおけるシンボルのフル表示/省略表示を切り替えます。 フル表示 省略表示
クォート値設定 (銘柄シンボルの表示設定配下)	相場表のカラム「L」において、現在値の表記を直近の bid/ask/settlement(Quote)か直近の取引価格(Trade)に切り替えます。 Quote  Trade 
平均値に適用する追加小数点桁数 ※プライスフォーマットで小数点を選択している場合のみ設定可 (銘柄シンボルの表示設定配下)	各ウィジェットにおける建玉平均値に追加する小数点を指定します。 何も設定しない場合 設定で 2 と指定した場合
強調表示する桁数 (銘柄シンボルの表示設定配下)	板画面の値段にてハイライトする桁数を指定できます。 何も設定しない場合  設定で 2 と指定した場合 
プライスフォーマット ※特定の銘柄を選択している場合のみ設定可 (銘柄シンボルの表示	銘柄に応じて、各ウィジェットにおける値段表記を省略、小数点、Fraction one、Fraction two、Solidus から選択できます。下図の例は小数点を表示する設定にした場合です。

設定配下)	 
省略前の表示小数点桁数 (銘柄シンボルの表示設定配下)	板画面の出来高、出来高プロファイルにおいて、省略表示(1.3K のような表記)を行う桁数を指定します。 何も指定しない場合  設定で 4 と指定した場合 
スプレッドマトリックスの限月管理	スプレッドマトリックスウィジェットにおける限月の表示/非表示を切り替えます。
レイアウト	デスクトップ用とモバイル（スマートフォン）用のレイアウトを切り替えます。

取引設定

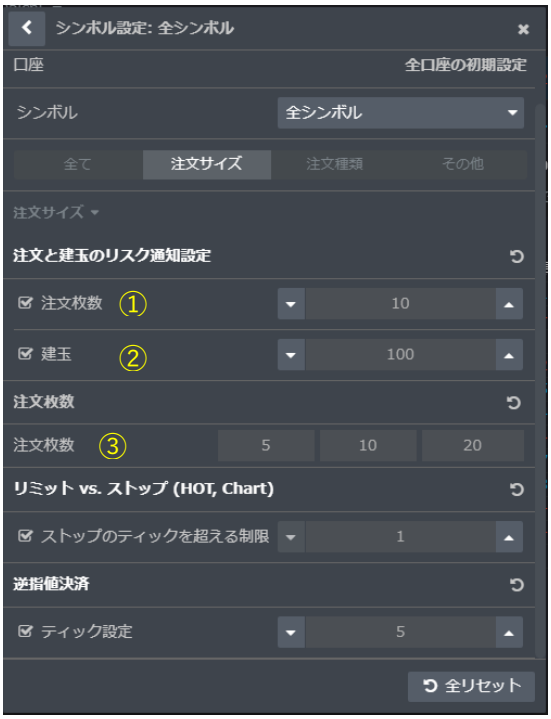
注文サイズおよび注文種類の設定

注文サイズおよび注文種類の設定は下図の**シンボル設定**にて行います。



上図の**シンボル設定**をクリックすると下図のダイアログが開きます。**全シンボルの初期設定**、もしくは**個々のシンボル**をクリックすると設定画面が開きます。

注文サイズタブ



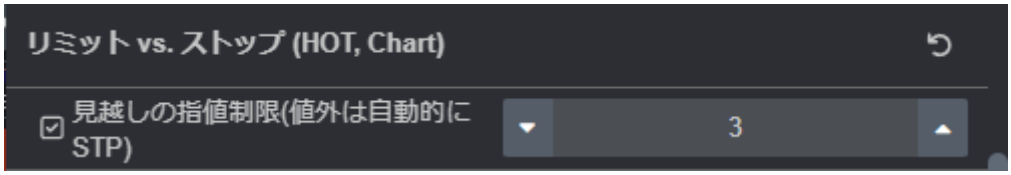
①**注文枚数**：設定値を超える注文枚数の発注時に警告メッセージが表示されます。

②**建玉**：注文発注により設定値を超える建玉を保有する場合は警告メッセージが表示されます。

③**注文枚数**：オーダーサイズコントロールボタンに表示される枚数を設定します。

注文種類タブ

リミット vs.ストップ



有効にすると買い(売り)の指値をベストビッド(ベストアスク)より設定したティック数を超えて(下回って)発注した際、自動的に STP 注文へ変更されます。

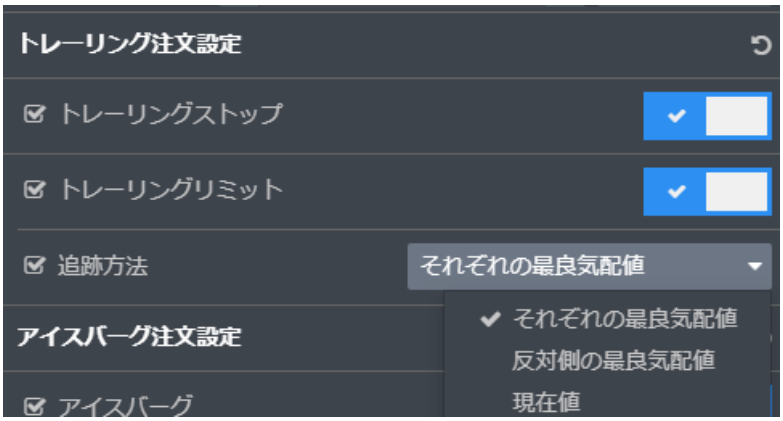
ブラケット・OCO 注文設定

有効にするとブラケット・OCO ボタンが板画面に表示されます。**ターゲット利益**および**ストップロス**はデフォルトのティック数を設定できます。

＜ブラケット・OCO ボタン＞

＜デフォルトティック数＞

トレーリング注文設定



トレーリングストップ、**トレーリングリミット**の何れか、もしくは両方を有効にするとトレイリングボタン（下図）が板画面に表示されます。

追跡方法：トレーリングリミット注文において、追跡対象を下記から選択できます。

①それぞれの最良気配値：買い注文の場合は最良買気配を、売り注文の場合は最良売気配を追跡対象とします。

②反対側の最良気配値：買い注文の場合は最良売気配を、売り注文の場合は最良買気配を追跡対象とします。

③現在値：現在値を追跡対象とします。

アイスバーグ注文設定

アイスバーグ：有効にすると板画面などの発注機能上の有効期限ドロップダウンに ICBG 当日および GTC が表示されます。

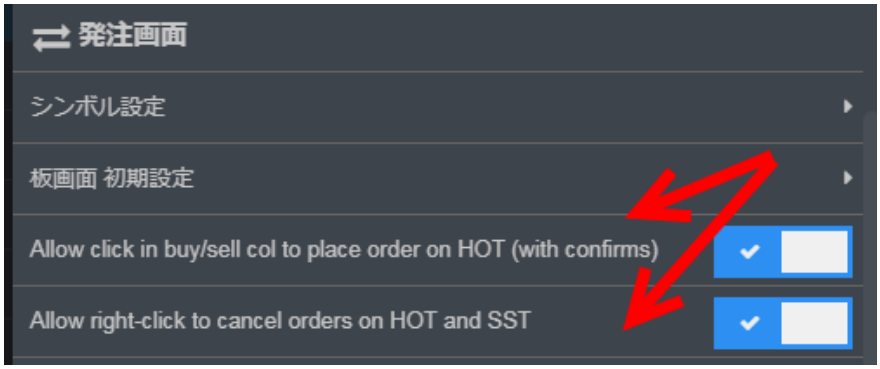
表示枚数：デフォルトの表示枚数（小口枚数）を設定できます。

板画面の買／売欄をクリックにて発注(確認画面付き)

これを有効にすると、買／売欄をシングルクリックにて発注可能となります。ただし発注時に必ず確認画面が表示されます。

板画面　右クリックで注文キャンセル

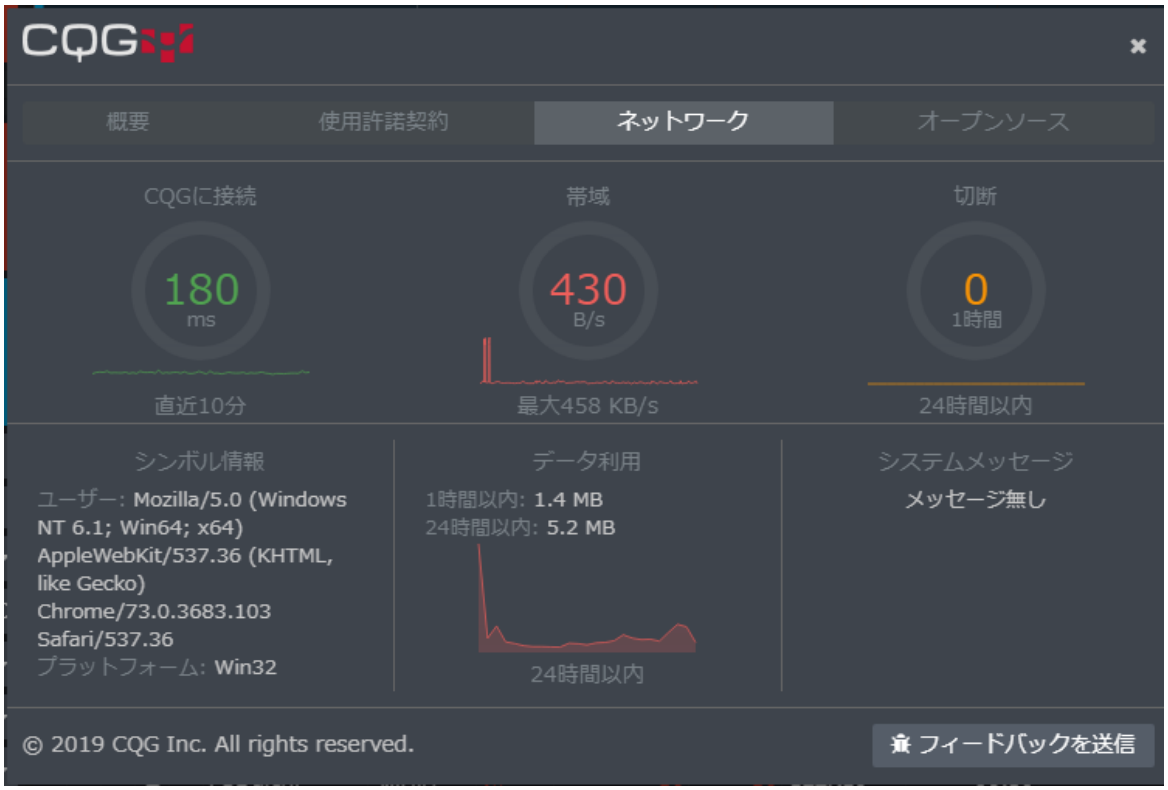
これを有効にすると、買／売欄のワーキング注文を右クリックすることで注文のキャンセルが可能になります。



接続状況

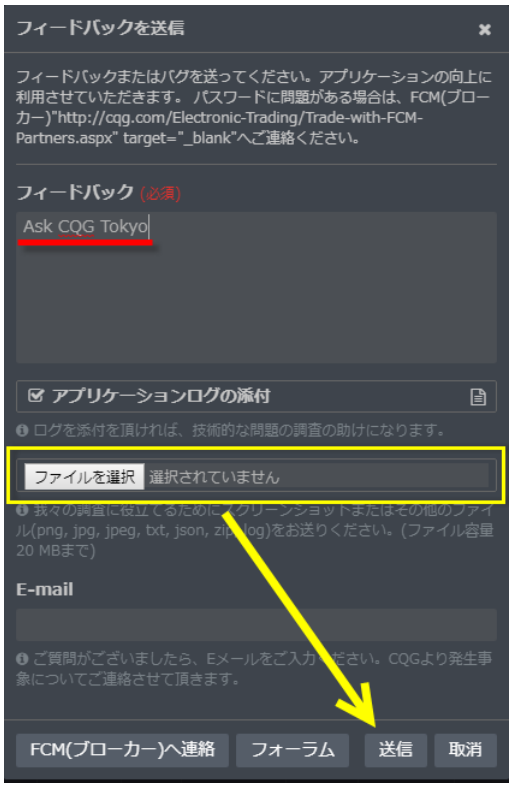
レフトバーの左下にある接続状況アイコンは、緑は接続状況が良好（GQG サーバーへのピングが２． ５秒以内）、黄色は接続状況が不良（GQG サーバーへのピングが２． ５秒以上）であることを示します。

接続状況アイコンをクリックすると下図のとおりネットワークの詳細状況が表示されます。



- **CQG に接続**：CQG サーバーへのピング時間、2500 ms 以下であれば接続状態は良好
- **帯域**：現在の帯域幅消費量と最大帯域幅消費量
- **切断**：直近１時間および２４時間における切断回数、１時間の切断回数が１０回以上の場合は接続状態が不良
- **シンボル情報**：使用端末のシステム情報
- **データ利用**：直近１時間および２４時間におけるデータ利用量
- **システムメッセージ**：システム不良もしくは計画メンテナンスの情報を表示

上記情報が接続不良を示している場合は、まず画面のスクリーンショットを撮ってください。そして詳細状況画面右下の**フィードバックを送信**をクリックし、**フィードバックを送信**ダイアログ（下図）のフィードバック欄にログインユーザー名、内容（英語）を明記、スクリーンショットを添付の上**送信**をクリックしてください。スクリーンショットはアプリケーションログと共に弊社に送信されます。



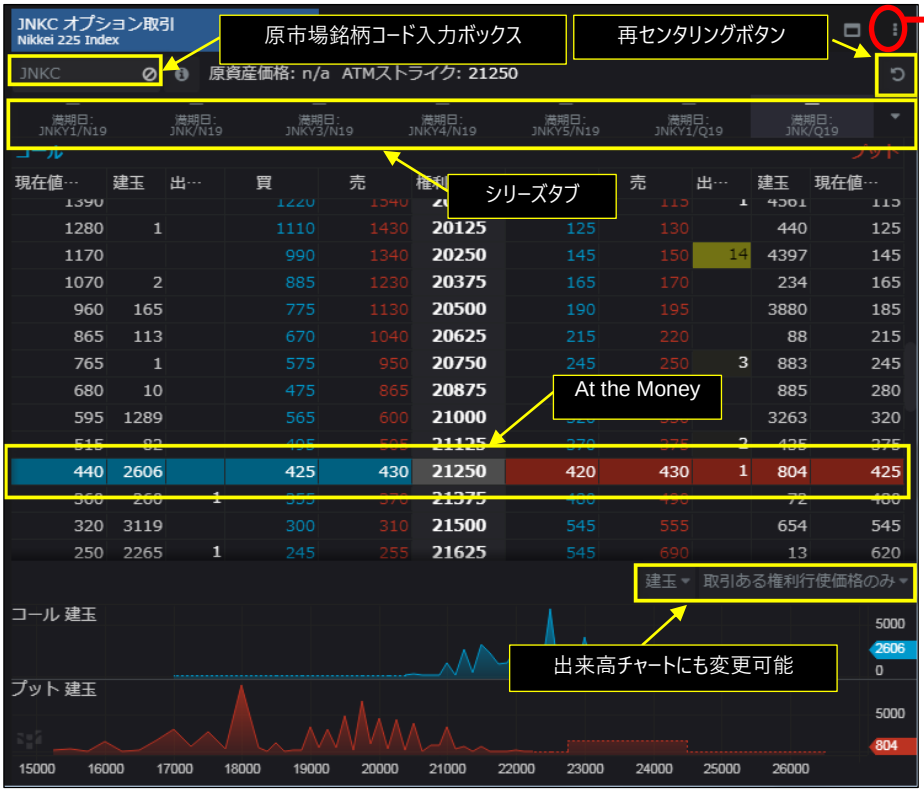
オプション取引

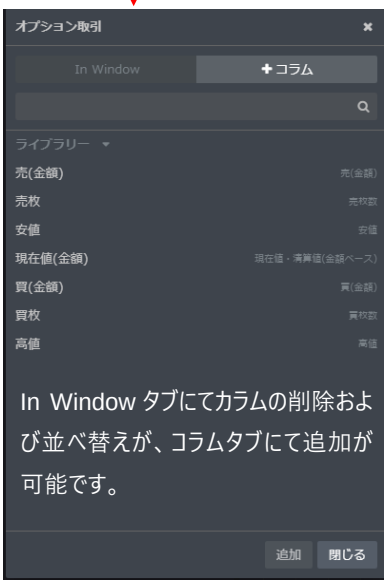
オプションウィジェット(ウィンドウ)の設定、操作方法について説明します。

ページにオプションウィジェットを追加するには、レフトバーよりオプションを選択します。

オプション

単一の満期日におけるオプション情報の閲覧に優れたウィジェットです。機能名称は以下の通りです。

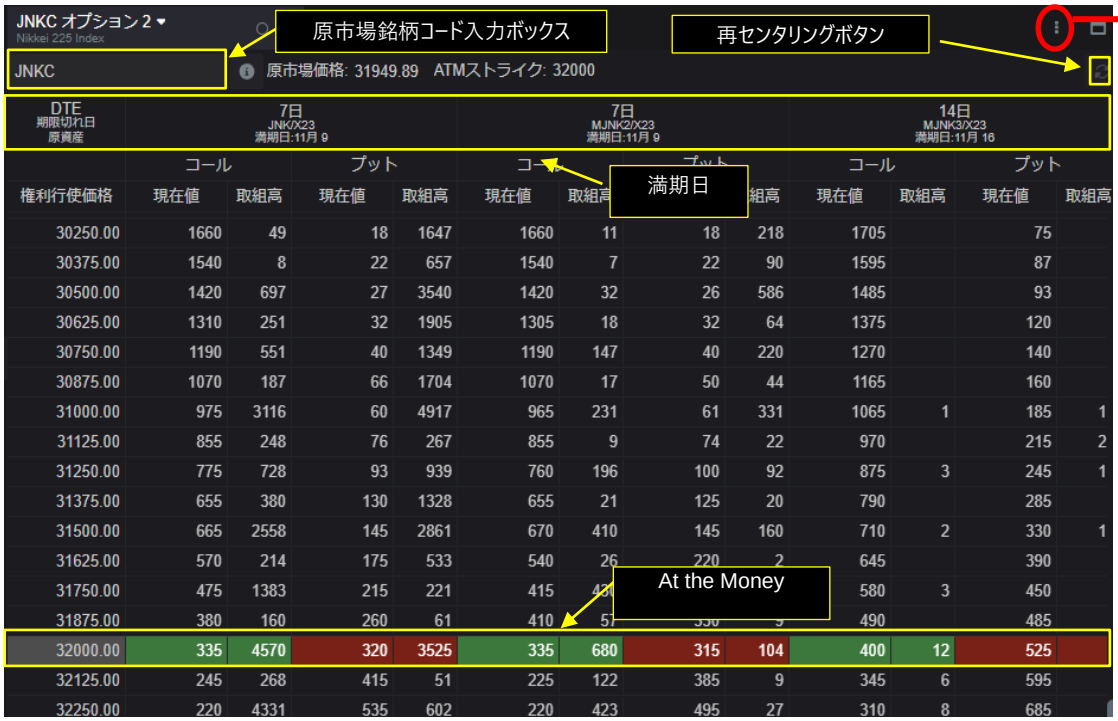


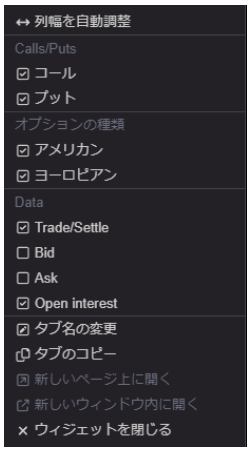


板画面とオプションウィジェットにリンクを設定することにより、板画面へのシンボルの入力を省くことができます。

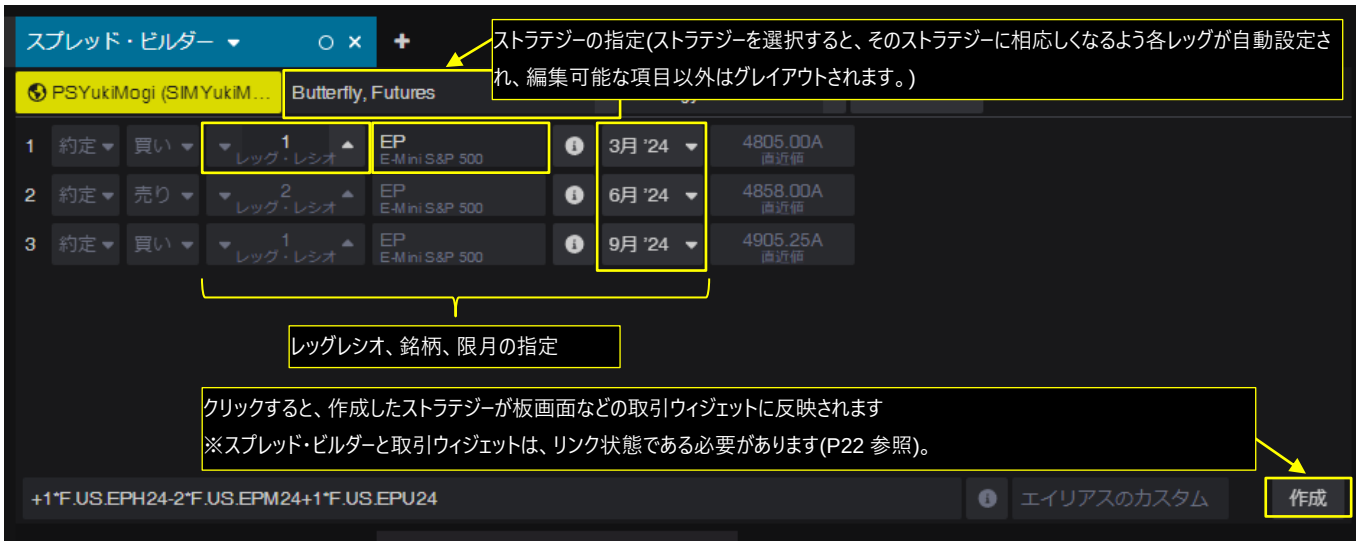
オプション 2

複数の満期日におけるオプション情報の閲覧に優れたウィジェットです。機能名称は以下の通りです。





カラムの削除および追加が可能です。
チェックがついている項目が現在ウィジェット上に表示されています。

スプレッド・ビルダー

取引所がサポートする UDS(ユーザー定義ストラテジー)の作成ができます。※2024 年 1 月現在、UDS に対応している取引所は CME、Eurex、Euronext、ICE、Nodal、Montreal のみになります。また、対応している取引所におきましても、UDS 非対応の銘柄が一部ございます。その場合、弊社までご連絡ください。